

第八十六回帝國議會 衆議院 所得稅法外十六法律中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

所得稅法外十六法律中改正法律案 (政府提出)(第九號) 地方稅法及地方分與稅法中改正法律案 (政府提出)(第一〇號)

昭和二十年一月二十五日(木曜日)午前 十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 勝 正憲君
理事今成留之助君 理事田中 藤作君
理事田部 朋之君 理事瀧澤 七郎君
安孫子孝次君 小野 義一君
小野寺有一君 菅野和太郎君
駒井 重次君 曾木 重貴君
田子 一民君 中井 亮作君
原口 純允君 船渡 佐輔君
増田 義二君 水谷長三郎君
森田 福市君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 小笠原三九郎君
大藏省主稅局長 田中 巖君
大藏書記官 平田敏一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

所得稅法外十六法律中改正法律案 (政府提出)

○勝委員長

是ヨリ會議ヲ開キマス

○森田(福)委員

昨日ノ私ノ質問ニ對スル大藏大臣ノ答辯ハ、ドウモ要領ヲ得ナカッタ點ガ多イデアリマス、繰返シテハ問ヒマセヌガ、私ハ斯ウ云フ考ヘテ居ルデアリマス、政府

ノ方ノ答辯ハ、自分ノ方ノ出シタ案ハ最善ノモノデアルカラ、委員ノ問フコトハ良クナイ、自分ノ方ガ一番良イト云フヤウナ意味ノ御答辯デアアルデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ考ヘレバ能ク分ル、私ハ稅ノ委員ハ二十年位ヤツテ居ルノデ能ク知ツテ居リマスガ、從來委員ガ言フコトハ否認スル、是ハイカヌ、政府ノ方ガ良イト言フ、所ガ其ノ次ノ增稅ノ時ニハ其ノコトガ織込マレテ出テ來ル、ダカラ此ノ案ヲ通ス爲ノ方便トシテノ答辯ニハサウナルカモ知レヌガ、私ハ良イトコトハ良イトシテ、次ノ機會ニヤラウト御答ヘニナルノガ宜イデアハナイカト考ヘルノデアリマス、昨日ノ分類所得稅ノ粗ヒドコロノ違ツテ居ルコト、今日モヤハリソレニ多少關聯シテ居リマスガ、大藏大臣ハ國民ノ現在ヤツテ居ル市區町、町會ヲ經テ割付ケテ居ル國債預金、債券割付ニ付テ、ドウモ公平ヲ得ナイ、法的根據ヲ與ヘナイト云フコトハ、是マデノ議會ノ都度大藏當局ノ答辯ヲ得テ居ルデアリマスガ、ドウ云フ所ヲ粗ツテ居ルカト云フト、綜合所得稅、住民稅ト云フモノヲ根據ニシテ行ツテ居ルカラ、ヤハリ株ノ配當金ヲ賣ツテ居ルトカ、月給ヲ取ツテ居ルトカ云フ者ニ多ク行クコトニナツテ、實際ニ浮動購買力ヲ持ツテ居ル、企業許可ヲ得テ居ナイ、仲介ナドヲシテ非常ナ金ヲ儲ケたり、或ハ自由労働者、或ハ工員等ノ方面ハ安イ住民稅ヲ納メテ居ルカラ、極ク僅カノ割當テ濟ンデ居ル、ヤハリ目的ガ達成セラレテ居ラヌデアリマ

スガ、此ノ割當ニ付テ何カ新シクサウ云フ方面カラ取レル手段ヲ御考ヘニナツテ居リマスガ、會社員ナドハ、役人モサウデスガ、役所ヤ會社ト相當割付ケル、歸ツテ見ルト又隣組ト割付ケテ來ル、二重ニ應ジテ居ルデアリマシテ、實ニ此ノ方面ノ經濟ハ苦シイノデス、之ニ對シテ本年モ公債ガ出レバ又此ノ方面ニモ相當強ク貯蓄ノ強要ガアルコトト思ヒマスガ、大藏大臣ハ此ノ粗ヒドコロヲ、何カ新シイコトヲ御考ヘニナツテ居リマスガ、相變ラズ從來ノ通りデアリマスガ

○石渡國務大臣

森田委員ノ御忠言ニ付キマシテハ感謝致スノデアリマス、政府ハ勿論率直ニ御答ヘテ致シテ居ル積リデアリマス、良イト思フコトハ其ノ次ノ機會ニ於テ實行致シテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、各般ノ事情カラ、良イト思フコトハ實行致スコトニ咨カデハゴザイマセヌ、今アナタノ御話ニ相成リマシタ貯蓄ノ割當ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ非常ニ困難ナ問題デアリマス共ニ、是非トモ何トカ解決シナケレバイカヌ問題デアルト思ヒマス、一體所得ト見立割ト云フカ、其ノ住宅ニ屬スル分、此ノ二ツノモノガ加ツテ住民稅ニ相成ツテ居ルデアリマスガ、理窟カラ行ケバ住民稅ヲ標準ニシテ貯蓄ノ割當ヲ致スト云フコトガ、一應合理的ノヤウニモ考ヘラレルデアリマス、又サウ大キクナイ都市以下ニ於キマシテハ、其ノコトガ比較的實行シ易イ、從來戶數割ノアリマシタ時分ニ、戶數割ヲ實行シテ

圓滑ニ行ツテ居ツタ方面等ニ於テハ、貯蓄ノ割當モ比較的公平ニ行ツテ居ルヤウデアリマスガ、大都市ニ於テハ隣ニ住ンデ居ツテモ人ノ饑ロ工合ガ分ラナイカラ、隨テ住民稅ノ課稅其ノモノモ中々思フヤウニ行カヌト云フ點ガ起ツテ來テ居ルト思フデアリマス、所得ト云ツテモ、今日ハ三千圓以下ハ綜合所得稅ノ賦課ヲ受ケマセヌカラ、三千圓カ二千圓カ三百圓カ、左様ナコトハ第三者ニハ分ラヌデアリマス、隨テ其ノ住民稅ハ所得稅ヲ納メナイト云フ所デ、皆一本ニ相成ツテシマフト云フ缺點モアルデアリマス、一體是等ヲドウシタラ宜イカト云フコトハ、此ノ數隨月大藏省ニ於テ各方面ノ權威者衆議院カラモ參加ニナツタデアリマスガ、各方面ノ貯蓄ノ權威者ニ集ツテ戴イテ、其ノ方法ヲ考究致シタデアリマス、今同豫算ハ臨時軍費等ヲ加ヘマス、此ノ決戰ヲ控ヘマシテ、相當大キナ豫算ニ相成ルト思ヒマス、隨テ公債ノ發行額等モ亦餘計出テ來ル、又一般ノ資金モ餘計ニ要ル、隨テ貯蓄ノ増強モ其ノ度ヲ加ヘルコトト思ヒマシテ、來年度ニ於テハ更ニ一層深刻ナ問題ニ相成ルコトデアルト思フデアリマスガ、貯蓄ノ増強ノ問題ニ關シマシテ、其ノ割當ニ付テハ更ニ一層實情ニ合フヤウニ工夫シテ行キタイト思ヒマス、ソレデ今同ノ法律ニ於キマシテ臨時資金調整法ヲ改正ニ於キマシテ、一方ニ於テ貯蓄ヲ増強致スト共ニ、各都道府縣市町村ニ協議會ヲ設ケマシテ、貯蓄ノ割當ヲ如何ニ公平ニヤ

ルカ、又是ハ極ク少數デアリマスガ、私ハ公債ハ御免ダト言ツテ、支那事變以來殆ト公債ヲ買ハナイヤウナ人達モアリマスノデ、斯ウ云フ人達ニ對シテ如何ニ事實上ノ制裁ヲ加ヘテ行クカ、又ドウモ自分ノ隣組ノ割當ガ不公平デアル、ドウモ非常ニ饑ロ工合ノ良ササウナ所ガ一向ニ公債ヲ買ハヌ、割當ヲシナイ、又ハ割當ヲ受ケルノガ非常ニ少イト云フヤウナモノニ付キマシテ、ソレ等ノ委員會ニ訴ヘルコトガ出來ル、自分ノ割當ハドウモ餘リ多過ギルノデアリカト云フコトニ付キマシテハ、ソレ等ノ委員會ニ於テ十分相談ナリ研究モシテヤツテ行クト云フ委員會ヲ拵ヘタイト思フデアリマス、ソレ等ノ爲ニ豫算モ、本日議案ヲ提出致シマス追加豫算ニ、相當ニ交付金ヲ見込シテ居ルヤウナ次第デアリマス、只今御話ノアリマシタ貯蓄ノ割當ニ付テハ、大藏省ト致シマシテ、更ニ慎重ニ其ノ當ヲ得ルヤウニシテ行キタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○森田(福)委員

其ノ點ハ今日ノ通りデハイケマセヌ、私等ノ隣組デモ月収千圓位アル者ガ澤山アルノニ、其ノ人ハ僅カナ住民稅ヲ課セル爲ニ、二圓トカ二圓五十錢トカ云フモノデアルガ、一月方給百五十圓取ツテ居ル銀行員ハ非常ニ澤山ノ割當ガ來ル、二十圓、二十五圓ト云フヤウナ狀況デアリマスガ、是亦今ノ協議會デウマク行ケバ結構デアリマスガ、是モヤハリ表ニ現ハレヌ所得ヲ得テ居ル者ニ持タス工夫ヲ考ヘナケレバナラヌデアリナイカト思ツテ居リマス、要スルニ月給トカサウ

云フ決ツタ収入ノアル者デハナク、仲介業ヲシタリ、色々ナ仲介ヲヤツテ不當利得ヲ得テ居ル者、是等ニ對シテ私ハ相當多額ノ公債ヲ持タス必要ガアルト考ヘルノデアリマスカラ、其ノ方面ニ付テノ研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

次ハ食糧増産ニ非常ナ關係ノアル問題デアリマスガ、今日食糧ノ確保ハヤカマシク叫バレテ居リマスシ、絕對必要ナモノデアリマス、隨テ農民ガ最モ渴望シテ居ル問題デアル所ノ濁酒ノ醸造ヲ自給ト言ヒマスカ、或ル一定限ノ免許ヲ與ヘル意思ガアルカドウカ、モウツハ、ヤハリ自給的ノ葉煙草ノ耕作ヲ一定面積ダケハ許スカドウカ、此ノ問題ハ農民ノ熱烈ナル希望デアリ、又之ヲ容レテヤルコトニ依ツテ食糧ノ増産確保ニ非常ナ寄與ヲスルコトハ申スマデモナイノデアリマス、茲ニ出テ

居ル參考資料ニ依ルト、濁酒ノ檢査ヲ受ケテ居ル石數ナドサウシタモノデヤナイ、是ハ許スコトニナレバ相當數ニナラウガ——是ハ米ノ心配ヲナサルヤウデアリマスガ、必ズシモ全部米デ造ルモノデハナク、麥モアリ、粟モアリ、色々ナ雜穀デモ造レルノデアリマ

スシ、其ノ家ニ嗜好者ガアルトシテモ、其ノ家庭内ニ於ケル自給ノ範圍ハサウ澤山ナモノデヤナイト思ヒマス、隨テ大藏省ノ方デモ既ニ研究モ出來テ居ラウシ、腹案モアラウト思ヒマ

ガ、此ノ二點ニ對シテ大藏大臣ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマスカ、是ハ農民ガ切實ニ知りタガツテ居ルノデアリマス、食鹽ノ方ハ御承知ノ通り自家製鹽ヲ御許シニナツテ居リマスガ、ソレヨリモ此ノ方ガ農民ハ一層熱望シテ居ルノデアリマス、此ノ二點ハドウ御

考ヘニナツテ居リマスカ

○石渡國務大臣 濁酒ノ自家用醸造ヲ許シテハドウカト云フ問題ハ、久シイ前カラ色々論議サレテ居ル問題デアルコトハ、能ク承知シテ居ルノデアリマス、併シナガラ濁酒ノ自家用ヲ認メルコトハ、各般ノ點カラシテドウモ如何カト思ハレル點ガ相當アルヤウニ思フデアリマス、御承知ノ通り一ツハ勿論國ノ歳入ノ問題デアリマス、ソレカラ一ツハ國民ノ健康上ノ問題デアリマス、日本デ濁酒ヲ從來自分デ造ツテ飲ンデ居ル所ノ地方、左様ナ習慣ノアル地方ハ東北方面デ言ヘバ秋田デアリマス、秋田ガ全國ノ八割位自家用濁酒ヲ造ツテ飲ンデ刑務所ニ留マラレテ居ツ

タノデアリマシテ、殆ド秋田地方ノ一風習ト云ツテモ宜イ位ニナツテ居ツタノデアリマス、其ノ當時秋田ノ方面デ色々話ガアツタノデアリマスガ、結局統計等カラ見レバ、秋田ノ一人當リノ飲酒料ト云フモノハ、他ノ縣ノ倍以上ニ相成ツテ居ル、濁酒ヲ自ノ家デ勝手ニ造ルト云フコトカラシテ、女モ飲ム、子供モ飲ム、健康上モ甚ダ憂フベキ點ガアルヤウニ思フノデアリマス、此ノ酒ノ問題ヲドウ持ツテ行クカト云フコトハ中々難カシイ問題デアルト思フノデアリマスガ、結局少量ノ酒ヲ飲ムト云フコトハ健康上ニモ宜シイノデアリマセウガ、之ヲ餘リ餘計ニ飲ミマ

スト、國民全體ノ健康上餘リ宜クナイト云フコトハ申スマデモナイ、自家用デ造ツテ、自分デ飲ムト云フ所ノ左様ナ習慣ガ、國民ノ保健衛生上ニ及ボス影響ト云フモノハ相當アルノデアアルマイカトモ思ハレルノデアリマス、ソレデ、ドウモ濁酒ノ自家用醸造ト云フコトニ付テハ、餘程考慮ヲ要スル點ガ

アルト存ジマス、併シナガラ農村方面ニ於テ今日ノ狀況ニ於テ相當酒ノ増配ヲ致スコトハ、或ハ必要デアルカトモ存ジテ居ルノデアリマス、ソレデ今年モ昨年同様酒ノ醸造ハ致シマスガ、其中農村ノ方ニ少カラザル數量ヲ廻スヤウニ致シテ居ルノデアリマシテ、農村方面ニ於キマシテ、食糧増産、薪炭増産、斯様ナ増産ヲ圖ル方面ノ産業戰ニ依ツテハ問題ニ相成ルト思フノデアリマスガ、政府ニ於テハ只今其ノ自家用ノコトハ考ヘテ居リマセヌ、食鹽ニ付キマシテハ是非自家用ヲヤツテ戴キタイト思ツテ、是ハ獎勵金マデ出シテ自家用ヲ勸奨致シテ居ル次第デアリマ

ス

○森田(福)委員 只今ノ御答辯デアリマスガ、食鹽ハ自家用ノ獎勵ヲナサツテモ、是ハ海岸デナケレバ出來ヌデス、海岸ヲ離レタ農村デハ造リヤウガナイノデス、マサカ原水ヲ運ブ譯ニモ行カズ、是ハ農民ニ對シテハ大キナ効果ハアルマイト思ヒマス、酒ノ方ハ大藏大臣ノ御心配ニナツタ保健ノ問題ハ別トシテ、稅ノ方ノ歳入ニ缺陷ヲ來スヤウナ御話ガアリマシタガ、ソレハ、勿論清酒ヲ十分ニ造ツテ、農民ハ必要ナル量ダケヲ配給スレバ、是ハ議論ノ餘地ハアリマセヌ、併シ今ノ量デハ少イノデアリマス、サウシテ又濁酒ヲ造ラシテモ、都合ニ依ツテハソレニ何程カノ課稅ヲスルコトモ出來得ルノデアリマス、此ノ點ハ配給ヲ増スト仰シヤツテモ僅カカモノデアリマセ

ウ、全部ノ造石數ト云フモノハ大變減ツテ居ルノデアリマス、濁酒ニ付テハ

——歳入ノ點ハ別途ニ色々考慮ノ餘地ガアリマスシ、自家用ノ農民ガ熱望シテ居ルノニ對シテ、食糧ノ増産確保ヲスル上カラ、是非トモハ私ハ必要ナコトデアルト思フカラ、尙ホ一層一ツ出來ルヤウニ御配慮、御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス、葉煙草ノ問題モ同様デアリマス、是モ澤山作ラサヌデモ、僅カカモノデアレルト思フノデアリマスカラ、若シ手ヲ着ケテ居ラレナケレバ一ツ今カラ之ニ手ヲ着ケラレテ、サウシテ農村ノサウ云フ程度ノ希望ヲ此ノ戰時ノ際ニ満たシテヤツテ、ヤハリ食糧ノ増産ガ出來ル方ガ宜イノデアリマスカラ、食糧ノ増産ノ出來ルコトデアルナラバ、此ノ濁酒トカ葉煙草ノ自給位ノコトヲ許可スルコトガ宜イト思フ、何レ平時ニナレバ、又戰爭ガ濟メバ、何時デモ取止メサセラレルノデアリマスカラ、斯ウ云フ非常ノ時ニハ非常ノ處置ヲ御取リニナルコトガ宜イノダト私ハ思フノデス、何時モノヤウデハナク御考ヘヲ願ヒタイトイノデ、特ニ深甚ナ考慮ヲ煩シテ置キマス、又是ハ建議案モ出ルト思ヒマスカラ、他ニモ御答ヘニナル機會ガアラウト思ヒマス

ソレカラ是ハ昨日ノ續キノヤウナコトニナルノデアリマスガ、本年モ公債ヲ大變出スト云フコトデアリマス、ソレハサウデアリマセウ、所ガ公債ヲ多額ニ出サヌ方法ハナイノデスカ、公債ヲ多額ニ出シ、總テ今日ノ戰爭ニ働イテ居ル者ヲ金デ働カスト云フ頭ヲ持タズ、日本ガ減ビルカ減ビヌカト云フ瀬戸際デスカラ、モツト精神的ニ働カス方法ハナイモノデアルカ、此ノ休會中ニ私ガ二三ノ工場ニ行ツテ話ヲシタ

バ、ソレヲ食ツテモ働イテ行キタイヤウナコトヲ、若イ工員ナドハ其ノ座談會ノ時ニ皆話ヲシタ、政府ノヤリ方ハドウモ豫算ヲ高ク取ツテ、物ノ單價ヲ高クスレバ増産ガ出來ルヤウニ考ヘテ居ルガ、寧ロ増産ハ賃金ヤ賞與ヲ高率ニヤルヨリハ——日露戰爭ノ時ノヤウニ、賃金ハ要ラヌカラ使ツテ呉レト云フ血書ガ大變出テ居ツタヤウデスガ、ソレデスカラ今ノ國民ニ斯ウ云フ方面ノ指導ヲシテ行クノニ、金ノミヲ以テ指導シテ行カウト云フ頭ヲ政府ハ切替ヘナケレバナラヌ、今日ハ利益トカ利潤トカ云フコトハ若イ者ハ考ヘテ居ラヌト思フ、片方デ公債ヲ増發シテ物ノ單價ヲ高ク註文シテ、一方デ稅トカ貯蓄デ吸收スルト云フヤウナコトデナク、モツト手間暇ノ掛ラヌ方法ヲ執ル御考ヘハナイカ、之ニ對シテハ昨日ハ御答辯ガナカツタノデアリマスガ、此ノ點ニ一ツ深甚ニ御考ヘニナツテ戴キタイ、私ハ貯蓄ヲスルダケ公債ノ發行額ヲ減シテ行ケバ宜イト思フ、國民ニ此ノ際貯蓄ガ出來ルヤウナ餘裕ヲ與ヘルトカ、收入ヲ與ヘルヤウナ政策ヲ執ルノガ間違ヒデアル、自由經濟時代ナラ已ムヲ得ナイガ、物ノ註文モ人間ヲ使フノモ月給モ、悉ク政府ガ統制ヲ執ツテ居ルノデアルカラ、サウ云フ高賃金ヤ貯蓄ノ餘地ノアルヤウナ收入ヲ與ヘル政策ヲ執ラズニ、今日ニナレバ止メルベキ時デアルト考ヘテ居リマスカラ、其ノ點ハ政府内部ニ於テモ御相談ナサツテ、稅ヲ吸收シタリ貯蓄デ回收シタリスルヤウナコトノ要ラヌ方法ヲ御考ヘニナランコトヲ、切ニ私ハ希望致シテ置キマス

次ニ御尋ネスル點ハ、大藏省ノ思想ト云フカ流レト云フカ、私ガ感心シテ

バ、ソレヲ食ツテモ働イテ行キタイヤウナコトヲ、若イ工員ナドハ其ノ座談會ノ時ニ皆話ヲシタ、政府ノヤリ方ハドウモ豫算ヲ高ク取ツテ、物ノ單價ヲ高クスレバ増産ガ出來ルヤウニ考ヘテ居ルガ、寧ロ増産ハ賃金ヤ賞與ヲ高率ニヤルヨリハ——日露戰爭ノ時ノヤウニ、賃金ハ要ラヌカラ使ツテ呉レト云フ血書ガ大變出テ居ツタヤウデスガ、ソレデスカラ今ノ國民ニ斯ウ云フ方面ノ指導ヲシテ行クノニ、金ノミヲ以テ指導シテ行カウト云フ頭ヲ政府ハ切替ヘナケレバナラヌ、今日ハ利益トカ利潤トカ云フコトハ若イ者ハ考ヘテ居ラヌト思フ、片方デ公債ヲ増發シテ物ノ單價ヲ高ク註文シテ、一方デ稅トカ貯蓄デ吸收スルト云フヤウナコトデナク、モツト手間暇ノ掛ラヌ方法ヲ執ル御考ヘハナイカ、之ニ對シテハ昨日ハ御答辯ガナカツタノデアリマスガ、此ノ點ニ一ツ深甚ニ御考ヘニナツテ戴キタイ、私ハ貯蓄ヲスルダケ公債ノ發行額ヲ減シテ行ケバ宜イト思フ、國民ニ此ノ際貯蓄ガ出來ルヤウナ餘裕ヲ與ヘルトカ、收入ヲ與ヘルヤウナ政策ヲ執ルノガ間違ヒデアル、自由經濟時代ナラ已ムヲ得ナイガ、物ノ註文モ人間ヲ使フノモ月給モ、悉ク政府ガ統制ヲ執ツテ居ルノデアルカラ、サウ云フ高賃金ヤ貯蓄ノ餘地ノアルヤウナ收入ヲ與ヘル政策ヲ執ラズニ、今日ニナレバ止メルベキ時デアルト考ヘテ居リマスカラ、其ノ點ハ政府内部ニ於テモ御相談ナサツテ、稅ヲ吸收シタリ貯蓄デ回收シタリスルヤウナコトノ要ラヌ方法ヲ御考ヘニナランコトヲ、切ニ私ハ希望致シテ置キマス

居ラズ、又國民ガ非常ニ心ヲ暗クシテ
居ル點ハ、動モスレバ所有權ヲ否認ス
ルガ如キコトガ澤山出テ參ルノデアリ
マス、勿論是ハドウ云フ經濟政策デ來
テ居ルカト云フト、世界各國トモ經濟
ノ行キ方ハ各、其ノ國ニ依ツテ違ヒマ
スガ、大體大別スレバ計畫經濟、社會
主義共產主義經濟、自由經濟ト云フ三
ツニ分ケ得ラレルノデハナイカト思ツ
テ居リマス、サウシテ我が國ガヤツテ
居ルノハ、計畫經濟ト云ツテモ、一家
ノ家庭或ハ會社ヲ作ルトカ或ハ豫算ヲ
作ルトカ、總テノ計畫經濟ト云フ意味
デハアリマセヌ、此ノ計畫經濟ハ御承
知ノ通り一九一九年ニ「ドイツ」ノ社
會民主黨ノ内閣ヲ握ツテ上ゲタノデア
リマシテ、是ハ閣議デモ否決ニテツタ
ノデアアルガ、ソレガ書物ニナツテ現ハ
レテ居リマス、此ノ所謂計畫經濟ハ即
チ民有國營ト云フヤウナコトカラ出發シ
テ來テ居ル、我が國ノ經濟ハ大體全部所
有權ト云フモノハ認メテハ居ルガ、其
ノ運營ハ國家ガヤツテ居ツテ自由ニナ
ラヌノデアアル、所有權ト云フモノハ自
由ニナルモノガ所有權デアツテ、自由
ニナラヌ所有權ト云フモノハアリ得ベ
カラザルコトデアリマス、企業整備ヲ
ヤツテ、先祖傳來ノ商賣ヲ斯ウ云フ時局
ノ爲メデアアルカラト云フノデアリ上
テ、ソレニ補償金ヲ與ヘル、補償金ハ
與ヘルガ、其ノ金ハ凍結サシテシマツ
テ使ハセナイ、或ハ會社ヤ法人デアレ
バ、定款ニ書イテアル目的ノ遂行ガ困
難ニナツテ來タカラ解散スル、株主ハ
現金ヲ拂込シテデアアルガ、今度返シ
テアル時ハ凍結預金デアアル、或ハ強制
疎開ヲヤラサレル、自分ノ本旨デハナ
イガ、強制疎開ヲヤツテ家ヲ買上ゲテ、
三千圓タケハ現金デアアルガ、其ノ他

ノモノハ凍結預金ト云フヤウナ、幾
多ノ凍結預金デアツテ居ル、是ハ要ス
ルニ大藏當局ガ善意ニ解釋スレバ、一
ツハ「インフレ」ヲ傾テ結果デアラウ
ト思フ、神經衰弱ニナツタト云フコト
ハ申上ゲヌガ、ソレダケヲ心配シテ斯
ウ云フ方向ニヤル、或ハ外地カラ金ヲ
取上ゲテモ、凍結ヲサスト云フコトヲ
ヤツテ居ル爲ニ、國民ハ非常ニ困ツテ
居ル、殊ニ東京ナド行ハレタ強制疎
開ノ家デ、三千圓實ツタノデハ今度ノ
移轉先へ移轉スルコトモ出來ヌヤウナ
コトガアツタノデアリマス、三千圓ダ
ケ現金デアトハ全部凍結預金ニサセ
タ、サウ云フヤウナコトハ「インフレ」ヲ
傾レタ結果デアアルカ、或ハ計畫經濟ノ
眞似ヲスルト云フカ、サウ云フ思想ノ
流レニ依ツテ所有權ヲ否認スル形ヲ現
ハシテ來タ、是ハ非常ニ宜クナイ思想
ノ流レダト思ツテ居ルノデアリマス、是
ハ憲法ノ第二十七條ニハ明確ニ「日本臣
民ハ其ノ所有權ヲ侵サル、コトナシ」ト
アル、併シナガラアナタノ方、大藏
省ノ官吏カラ言フナラバ、所有權ヲ認
メテアルデヤナイカト言ハレルダラウ
ガ、所有權ヲ認メテアツテ、自由ニナラ
ヌ所有權ト云フモノハアリマセヌ、所
有權ト云フモノハ自由ニナツテコソ初
メテ所有權デアルト云フコトガ明確ニ
ナルノデアリマス、率直ニ申上ゲテ見
レバ能ク分ルノハ、所有權デ自由ニナ
ラナイト云フコトハ、即チ女房ナソカ
デモ貫ツテ、戸籍ノ上デハ明確ニ何某
ノ妻ト言ウテアルカラ、名目ハ妻デア
ル、併シ同棲ハ許サスト云フノト同ジコト
デアリマス、君ノ所有權ハ認メルガ、
使ハスコトハサセヌゾト云フコトニナ
レバ何等所有權ニハナリマセヌ、又憲
法ノ御趣旨モサウ云フ趣旨デアリマス、

所有權ハ認メテヤルガ、併シ自由ニハ
サセヌゾト云フコトニハナツテ居ナ
イ、是ハ一ツノ思想ノ流レガ大藏省內
ニアツテ、動モスレバ他人ノ所有權ヲ
否認スルト云フ傾向ノ上ニモ屢、ソ
レガアツテ、ソレガ何處トナク色々ノ
方面ニ現ハレテ來ル、ソレガ非常ニ戰
力増強ヲ圖ラナケレバナラヌ國民トシ
テ、自分ガヤツテ居ル企業ヲ取上ゲラ
レタトスレバ、本旨デハナイケレドモ、
斯ウ云フ時デアアルカラ已ムヲ得ヌト決
メテ居ル、ソレニ對スル補償金ヲ何程
カ僅カナモノヲ貫ツテ、ソレニ依ツテ
生活シテ行カナケレバナラヌト云フノ
ニ、ソレハ自由ニハサセヌ、與ヘルコト
ハ與ヘルケレドモ、自由ニサセヌト云
フノデアアル、「インフレ」ヲ防グト云フ
ノニハ、國民ヲソナ暗イ心持ニサセ
ヌデ、又所有權ヲ侵サヌデ、他ノ方法
ニ依ツテ行クコトハ幾ラモアルト思フ
ノデアリマス、デアアルカラ計畫經濟ノ
眞似ヲシテ來タ統制經濟モ私ハ行詰ツ
タト思ヒマス、是ガ半身不隨ノ經濟デ
アリマス、所謂民有國營、オ前ノモノ
デハアルケレドモ、國家ガ是ハ運營ス
ルノデアツテ、自由ニハサセヌト云フ
ヤウナ思想ノ流レハ、私ハ感心セヌト
思フノデアリマス、之ニ付テ一ツ大藏
大臣ノ御考ヘヨ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 最初ニ御答へ致シタ
イト思ヒマスノハ、ドウモ公債ヲ發行
シテ行クト云フコトハ、結局儲ケル考
ヘガ本ニナツテ居ルモノダカラ、色々
物價ガ上ツタリ又勞賃ガ上ツタリ致ス
ノデ、ソレ等ヲ下ゲテ置ケバソナニ
公債ヲ發行シナクテモ宜イデハナイ
カ、斯様ナ御考ヘデアルト思フノデアリ
マス、全部ガ全部公債ヲ發行致ス原因
ガ左様ナ原因デアルトハ存ジマセヌ、

併シナガラ今アナタノ御觸レニナツタ
ヤウナ點ニ屬スル經費ノ増加ノ爲ニ公
債ノ發行ヲ必要ト致ス部面モ相當アル
ト思フノデアリマス、今アナタノ仰シ
ヤツタヤウナ、此ノ非常時ニ際シテ國
民ハ素樸ニナツテ御泰公スルノデア
カラ、モウソソナ國民ノ高賃金モ物價
ノ引上モ、左様ナコトハ止メテ、總テ
今マデ通りノ姿デ働ケバ宜イデヤナイ
カ、斯ウ云フ御考ヘハ、御考ヘト致シ
マシテハ全ク同感デゴザイマス、官吏
ニ於キマシテモ、從來勅任官ガ漸次毎
年増加致シテ來テ居ルノデアリマスガ、
今年ハ殆ド此ノ勅任官ハ増加致シテ居
リマセヌ、是等モ役人モアルガ儘ノ姿ニ
於テ職ヲ、斯様ナ姿ガ相應シキモノ
デアアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、
併シナガラ總テノ問題ニ付テ今アナタ
ノ仰シヤツタヤウナ風ニ動イテ居ルナ
ラバ公債ヲ發行致ス必要モナイノデア
リマスガ、中々サウ動カナイ所ガアリ
マスノデ、是ハ大藏省ト致シマシテハ、
豫算ノ見地カラ行クトアナタノ御意見
ニ全然同感デアリマスケレドモ、中々
左様ニ行カナイ所ガアルモノデアリマ
スカラ、斯様ナ豫算ノ膨脹ノ一部ト云
フモノガ左様ナ原因ニ依ツテ起ツテ來
ルノデアリマシテ、殊ニ戰爭ノ場合ニ
於テ左様ナコトヲ實行致スト云フコト
ハ中々難カシイコトハアナタモ御承知
ノ通りデアルト思フノデアリマス、併
シナガラ此ノ段階及ビ今後ノ見透シト
致シマシテハ、ドウシマシテモ日本人
タルノ精神ヲ基調ニシテ、總テ經濟ノ
コトモ持ツテ行ク必要ノアルコトハ申
スマデモゴザイマセヌ、政府ニ於キマ
シテモ今アナタノ御考ヘニナツテ居ル
ヤウナ方向ニ向ツテ強力ニ此ノ高賃
金、高物價ト云フヤウナ方向ニ進シ
行ツテ居ルモノヲ抑ヘテ行キタイト思
ヒマス、ドウシマシテモ左様ナ方向ニ
進ムコトハ此ノ際宜クナイト存ジマス、
併シナガラ今日茲ニ現ハレテ居リマス
現實ノコトヲ私ハ申上ゲテ居ルノデア
リマシテ、今日ノ現實ト致シマシテハ相
當公債ノ發行ノ殖エテ來ルト云フコト
ハ間違ヒナイト思フノデアリマス、此
ノコトヲ申上ゲテ居ル次第デアリマ
ス

ソレカラ其ノ次ノ問題ハ大藏省ヘ所
有權ヲ否認スル傾向ヲ持ツテ居ルデハ
ナイカ、斯ウ云フ御尋ネデアリマスガ、
私モ大藏省ニズツト育ツタ男デアリマ
スガ、所有權ヲ否認スベシト云フヤウ
ナ教育ヲ受ケタコトハ決シテゴザイマ
セヌ、又現在モ左様ナ教育ヲ大藏省ニ
致シテ居ル譯デモゴザイマセヌ、税金
ト云フモノハ御承知ノ通り人ノ所有
權ニ觸ル、モノデアリマス、併シナガ
ラ是ハ一々法律ヲ以テ、斯ウ云フヤウ
ナ税金ヲ賦課徵收スルト云フ、二十年
來森田委員ノ熱心ナル御討究ヲ受ケテ
出來上ツタ税法デアアルノデアリマシ
テ、決シテ所有權ニ觸ル、ト云フ問題
デハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、
只今疎開ノ場合ニ於キマス凍結資金
ノコトニ付テ、ドウモ是モ憲法ノ精神
ニ反スルデハナイカト云フ御尋ネデア
リマシタ、御承知ノ通り憲法ニ二十七條
ニハ「公益ノ爲必要ナル處分ハ法律ノ
定ムル所ニ依ル」ト云フコトニ相成ツ
テ居ルノデアリマス、此ノ凍結ノ問題
ハ、之ヲ其ノ儘ニ致シテ置キマスナラ
バ、詰リ「インフレ」シヨ」ノ傾向ヲ
助長致シテ來マスコトハ、是ハ私ハ當
然デアルト思フノデアリマス、大藏省
ハスツカリ神經衰弱ニナツテ居ルデハ
ナイカト云フ御尋ネデアリマスケレド

モ、併シナガラ左様ナコトニマデ餘程
神經ヲ使ツテ行キマセヌト、此ノ戰時
ノ「インフレーション」ト云フモノハ進
行致ス心配ガアルノデアリマス、ソレ
デアリマスカラ、一應三千圓ヲ凍結ハ
致シテ置キマスケレドモ、必要アリ
マス分ニ付テハ、本人ノ申出ニ依リマ
シテ支給シテ居ル例ガ幾ラモゴザイマ
ス、決シテ本人ノ所有權ヲ拘束致スト
云フコトヲ主ニヤツテ居ル譯デハゴザ
イマセヌ、公益ノ爲メ已ムラ得ズヤツ
テ居ル次第デアリマス、其ノ點ノ關係
ハ十分御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田(總)委員 今ノ後段ノ御答辯ノ
中ニ稅ノコトニ付テ御話ガアリマシタ
ガ稅ハ憲法ノ上ニ於テ取立テルヤウニ
ナツテ居ル、法律モ取立テルヤウニナ
ツテ居ル、ソレヲ私ハ言ツタ積リハナ
イ、今度大藏省ガ澤山オヤリニナツテ
居ルガ、所有權否認ノ擧ニ出テ居ルコト
ガ澤山アル、就中今ノ企業整備令ニ依
ツテ會社ノ解散ヲシタ場合ノ株券ノ拂
戻シ、外地カラ取寄セタ金或ハ企業整
備ニ依ツテ貰ツタ補償金、強制疎開ニ
依ル家屋ノ代金ト云フヤウナモノ、是
ガ購買力ニ向ケテ居ルト思フコト
ガ既ニ大藏當局ノ考ヘガ間違ツテ居ル
ト思フ、會社ノ株ヲ持ツテ居ルヤウナ
階級ノ人トカ、先祖傳來ノ商賣ヲ止メ
テ貰ツタ補償金ト云フモノハ大事ニシ
マス、昨今ノアブク錢ヲ取ル新興階級
ノヤウニ、手ツカズニ大金ナ金ヲ儲ケ
テ居ルヤウナ連中ハ、金ノ有難サヲ知
ラヌカラドソノ使フ方ニ向ケテ行キ
マセウガ、從來カラノ者ハ使ヘト言ツ
テ布令ヲ出シテモ左様ニ使ハヌダラウ
ト思フ、隨テ斯ウ云フ方面ノモノヲ何モ
五箇年凍結シテ置カヌデモ所有權ヲ認
メテヤル、アナタノ御話ノヤウニ憲法

ノ條章ノ中ニモアリ、憲法ノ上論文ニ
モ仰セラレテ居ルノハ、朕ハ我カ臣民
ノ權利及財産ノ安全ヲ貴重シ及之ヲ保
護シト仰セラレテ居リマス、又二十
七條ニハ「日本臣民ハ其ノ所有權ヲ侵
サル、コトナシ」トアル、今ノヤリ方
ハ其ノ精神ニ反シテ居ルト言フノデア
リ、所有權ヲ認メテ居リナガラ、自由
ニナラヌ所有權ト云フモノハナイヂヤ
イカト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリ
マスカラ、大藏大臣ハ自由ニナラヌ所
有權ノアルコトヲ明確ニ御示シニナツ
テ宜イ、所有權ト云フモノハ自由ニナ
ルカラ所有權ガアルノデアツテ、自由
ニナラヌノデアレバ所有權ハナイ、半
身不隨ス、使ヘヌモノハ仕様ガナイ、用
ヲナサヌモノガアツテモ仕方ガナイ、
サウ云フ教育ヲシタコトガナイトカ受
ケタコトハナイトカ仰シヤルガ、教育ヲ
シタリ受ケタリスルコトハアル筈ハア
リマセヌ、ソレハ思想ノ流レデアリマ
スカラ、赤ニ染ンデ來ル人間デモ、教
育シタリ受ケタリスルノデアリマセ
ヌ、色々ナモノヲ讀ンデ居レバ自然ニ
サウ云フモノニ感服シテ來ルノデア
ル、ダカラ私ノ御尋ネ申上ゲタノハ、
之ニ關係シタ國民ガ少クトモドウ云フ
譯デアスウ云フヤウナ束縛ヲ受ケルノ
アラウカト云フコトヲ心配シテ居ル、
ハハ貯蓄ヲサストカ何トカ云フモノ
ハナイ、ソレナラバ寧ろ法律ヲ以テ所
有權ヲ否認スルヤウナ態度ニ出ズニ出
來得ルヤウナ方法ガ幾ツモアルノデア
リマスカラ、此ノ點ヲ少シク明確ニ願
ヒタイト思フ

○石渡國務大臣 森田サソノ仰シヤ
ルヤウニ憲法二十七條ニハ「日本臣民ハ
其ノ所有權ヲ侵サル、コトナシ」其ノ
次ノ二項ニ「公益ノ爲必要ナル處分ハ

法律ノ定ムル所ニ依ル」斯ウナツテ
居ルノデアリマス、隨ヒマシテ所有權
ニ對スル制限處分等ハ法律ヲ以テ之ヲ
爲ス、斯様ニ相成ツテ居ルノデアリマ
ス、隨テ今ノ凍結令ニ依リマスル色々
ナ處分ニ對スル制限ト云フモノハ、此
ノ法律ニ根據ヲ置イテヤツテ居ル次第
デアリマス、サレバ公益上ノ必要ガア
ルカドウカ、斯ウ云フ問題デアリマス
ルナラバ、アナタカラ仰シヤレバ左様
ナコトハ神經衰弱ノ間違ツタ考ヘデ
アルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、私
共トシテハ左様ナ金ヲ此ノ際使ハセテ
置イタノデハ「インフレーション」ト云
フモノガ危イ、隨テ公益上サウ云フ金
ハ凍結致ス必要アリ、斯様ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○森田(總)委員 ソレナラ今日ヤラヌ
方ガ宜イ、ソレナラバ補償金ナドヲ與
ヘヌコトニシテ置ケバ宜イ、名ヲ與ヘ
テ實ヲ取ラセヌヤウニシテ居ル、此ノ
委員會ニハ關係ハアリマセヌケレド
モ、私ハ今度ノ富籤ナンカモ非常ニヲ
カシト思フ、二十萬圓當ルガ現金ハ
二割渡シテ、アトハ賣レヌ公債ヲヤ
ル、ソレデヤ四萬圓當ツタノデアツ
テ、二十萬圓ニ當ツタコトニハナラヌ
ト思フ、補償金ナドニシテモ、營業ヲ
止メサシテ補償金ヲケレドモ、使
ハヌコトハ出來ヌカラ之ヲ凍結シテ置
ク、ソレナラバ初メカラ與ヘヌ方ガ宜
イ、公益上必要ガアルカナイカノ議論
ハ、議論ニナルカラ致シマセヌ、アナ
タノ方ハソレガ通貨ヲ膨脹サセル源
ナスト言フガ、私ハサウハ思ハヌ、モ
ウ既ニ「インフレーション」ニハナツテ居
ル、マ
ダ大藏省ノ諸君ハ「インフレーション」ニハナツ
テ居ラヌト思ツテ居ラレルガ、是レコ
ソドウカシテ居ル、モウ既ニ「今

日「インフレーション」ニナツテ居ル、私ハ寧ろ
ソレヲ恨レル方ガ間違ヒダト云フ頭ヲ
持ツテ居ル、其ノ點ハ見解ヲ異ニスル
ノダカラ議論ハ致シマセヌ、外ノ國デ
モ戰爭ヲシテ居ル國ハ何レモ物ガ高ク
ナツテ來テ居ルガ「インフレーション」ヲサウ神
經ヲ惱メヌ必要ハナイト云フ考ヘヲ持
ツテ居ル、今大藏大臣ノ方カラ御答辯
ニナツタヤウニ、公益上ノ必要ガアツ
テア、云フ風ニシタノダト云フコトナ
ラバ其ノ源ヲナス所ノ補償金ヲ與ヘヌ
ヤウニシタラ宜イ、併シ大藏省ハ斯ウ
云フコトヲヤツテ居ル、大藏省ガ承認
ヲ與ヘテヤツテ居ル總テノ補助金政
策——買上價格ハ高ク買上ゲ、賣渡價
格ハ消費者ニ對シテ安くシテ居ル、是ハ
澤山例ガアル、米ニシテモ石炭ニシテモ
サウデアアル、「インフレーション」ガイカヌト言
フナラバ消費者負擔ニスレバ宜イ、サ
ウシテ公債ノ發行ヲ少クスル、サウス
レバ貯蓄々々ト聲ヲ泗ラシテ叫ブ必要
ハナイ、消費者負擔ニスレテ行ク、凡ユル
手段方法ガアルガ、「インフレーション」ヲ來ス
ヤウナ政策ヲ片手デ御執リニナツテ、
片手デ今ノヤウナ國民ノ心ヲ暗クスル
ヤウナコトヲオヤリニナツテ居ル、ド
チラガ本當カ私ハ能ク分ラヌ、本當ニ適
貨膨脹ヲ阻止シヨウト云フ御肚ノ方
ガ多イト思フガ、ソレナラバ買上價
格賣渡價格ノ差ヲ大變付ケテ消費者
負擔ヲ輕クシ、ソレガ爲ニ通貨ガ莫
大ニ膨脹スルヤウナコトヲ止メル、
其ノ邊ヲ考慮ニ入レラレタナラバ、
私ハ大變樂ニナルノヂヤナイイカト思
フ、今言ツタヤウニ憲法二十七條ノ第
二項ヲ適用シテ自由ニサセヌト云フコ
トデアレバ、初メカラ與ヘヌ方ガ宜
イ、「インフレーション」ニスルヤウニ買上價格
ト賣渡價格ニ大變ナ差ヲ付ケテ置イ

テ、ソレヲ負擔シテ居ル、片方デハ
「インフレーション」ニナルカラソレヲ自由ニサ
セヌ、ソコニ矛盾ガアリヤシナイイカト
言フノデス、斯ウ云フ戰爭ヲシテ居ル
特ニ左様ナ手間ノ掛ル矛盾ノアル政策
ヲ御執リニナラズニ、國民ノ心ヲ暗ク
サセヌヤウナ方法ヲ御執リニナル方ガ
宜イノヂヤナイイカ、今ノ點ハ私ハドウ
カ一ツ大藏大臣ハ理窟バカリ言ハズ
ニ、今度企業整備ナドヲ受ケル人間ノ
氣持ニナツテ自由ニサス方ガ宜イノヂ
ヤナイイカ、アナタノ仰シヤルヤウニ自
由ニサスコトガ惡イナラバ、買上價格
ト賣渡價格ニ大變ナ差ノアル補助政策
ヲ御執リニナルコトヲ御止メニナツ
テ、其ノ點ヲ明確ニサツタラドウデ
スカ

○石渡國務大臣 ドウモ私ハ森田委員
ノ御尋ネガ能ク分リ兼ねルノデアリマ
スガ、大體ニ於キマシテ私ハ政府ノヤ
ツテ居リマスヨトハ一貫致シテ居ル
思フノデアリマス、矛盾ハ致シテ居
ヌト思フノデアリマス、例ヘバ買上價
格ヨリモ安イ値段ヲ以テ賣ル、斯様ナ
コトモヤハリ物價ヲ引上ゲマイト云フ
配意、即チ「インフレーション」ヲ進行
致サセマイト云フ配意カラ出テ居ルト
思フノデアリマス、上ルモノヲ其ノ儘
ニ放置シテ置キマスレバ、國民一般ハ
高イ値段ヲ出シテ買ハナケレバナラ
ヌ、ソレヲ低ク抑ヘテ置イテ、生産費
ノ引合ハナイ所ヲ政府ニ於テ負擔シテ
行ク、斯ウ云フコトデアリマスカラ、
通貨ノ膨脹ノ程度カラ行ケバ是ハ同ジ
コトデアリマス、トソノ「デアリマ
ス、ガ、政府デアツツサウシテソレヲ
安く賣ルト云フコトニ依ツテ、若シモ
其ノ物ノ値ガ上ツタ場合ニ於テ、他ノ
物價ニモ影響シテ來ルト云フコトヲ阻

ト賣渡價格ニ大變ナ差ヲ付ケテ置イ

止シテ居ルノデアリマシテ、只今アナ
タガ頻リニ論難致サレテ居ル所ノ凍結
資産、其ノ凍結ヲヤツテ居ルノ同ジ
心持ナノデアリマス、即チ又狙ツテ居
ル所モ同ジコトデアリマス、ソレカラ
富籤ニ致シマシテモ、世ノ中ニ浮動シ
テ居ル所ノ購買力ヲ引上ゲヨウト致シ
テ居ルノデアリマシテ、ヤハリ總て是
等ノ政策ハ一貫シテ物價騰貴ノ抑制、
又ハ「インフレーション」ノ進行阻止、
此ノ問題ヲ廻ツテ斯クノ如キ諸政策ガ
實行政サレテ居ルノデアリマシテ、私
ハ總テ一貫シタル方針ノ下ニ、一貫シ
タル態度ヲ以テ政府ハ斯クノ如キコト
ヲ實行政シテ居ルモノト存ジテ居リマ
ス、只今アナタノ仰シヤイマシタ富籤
ニ伴ツテ八割公債ヲ渡シテ一等ガ二十
萬圓ト云フ御話ハ、是ハ政府ノ案デハ
アリマセヌ、アナタノ所屬シテ居ラレ
ル翼政會ノ御案デアリマス

モ彼處ノ流レガ「インフレーション」ヲ
非常ニ氣ニスル、本山トマデハ言ハヌ
ガ、サウ云フ氣持ガ流レテ居ルコトハ
能ク知ツテ居ル、而モ誰ガ其ノ主流ヲ
成シテ居ルカト云フコトモ知ツテ居
ル、ダカラ私ハドウカ石渡大藏大臣ハ
其ノ點ヲ御考ヘ下サツテ、成ベク國民
ノ心ヲ暗クサセヌヤウニ、又所有權ヲ
認メル以上ハ小細工ヲ用ヒヌデ、一ツ
ソコハ大キナ壯ニナツテ國民ヲ抱キ込
ンデ、國民ヲ信頼シテヤツテ貫ヒタイ
ト思フ、ソレカラ今ノ御話ノ中ニ補助
政策ヲ執ツテモ五分々々ダト云フ御話
ガアツタノデアリマスガ、ソレハ大キ
ナ考ヘ違ヒデアル、買上價格ヲ高ク買
上ゲテ、安ク賣下ゲテ行ツテモ、ソレ
ハ消費者負擔ニスルノ結果、同ジデ
アルト仰シヤツタガ、ソレハ同ジデア
リマセヌ、買上價格ヲ高ク買上ゲテ、
賣下價格ヲ安クスル、其ノ差額ヲ政府
ガ補償シテ、ソレダケ公債ヲ多額ニ發
行スル、消費者負擔ニシテ行ケバ、ソ
レダケノ公債ヲ發行スル必要ハアリマ
セヌ、ソレダケ公債ヲ少クシテ行ケ
ル、是ハ御研究ヲ願ハヌデモ簡單デア
ルト思フガ、サウ云フ點モアルカラ、
私ハ矛盾シテ居ラヌト仰シヤルガ、矛
盾シテ居ルト思ヒマス、片方デハ消費
者負擔、片方デハ補助ヲ與ヘテ置イ
テ、通貨ヲ吸收スル爲ニ公債ヲバラ撒
ク、ソレハ成程貯蓄局ト云フモノヲ拵
ヘテアルカラ、貯蓄局ヲ廢メルト其處
ニ居ル人間ノ用事ガナクナツテ困ルト
云フコトガアルノデアリマスガ、今日
ハ人手ガ何處デモ要スルノデアリマ
ス、ソノナコトヲ考ヘル必要ハナイ、其
ノ點ハ一ツ餘リ時間ヲ取ツテモ御氣ノ
毒デスカラ、能ク私ノ申上ゲテ居ルコ
トヲ御考ヘ願ツテ置クコトニ致シマ

ス
最後ニ一點ダケ、是ハドウシテモ大
臣ニ御考ヘテ願ハナケレバナラヌト思
フノデアリマスガ、稅務行政ヲ成ベク簡
素化シタイト仰シヤツタ、是デ何程カ
前ヨリモ簡素ニナツタト思フガ、大シ
タコトハアリマセヌ、サウシテ根本的
ニ戰時稅制ノ改正ヲヤルカト言ウタ
ラ、追々ニハヤルト云フ意味ニ於テ御
話ニナツタ、直グニハヤラヌ、此ノ通
リ行クト云フナラバ、地方ノ第一線
ニ立ツテ居ル稅務署ノ官吏ヲモウ少シ
充實サシテ、會社ナドニ引拔カレヌヤ
ウナ待遇ヲ與ヘテヤル、或ハ之ニモ色
色ナ弊害ガ伴ツテ居リマスガ、其ノ弊
害ノ起ラヌヤウニ、色々ナ問題ヲ生ゼ
ヌヤウナ待遇ヲ與ヘテ居付カス、殊ニ其
處ニハ中堅トコロズツト置イテ行カヌ
ト、今ノヤウナコトデハ課長トコロニハ成
程老人ガ居ルガ、モウ下ノ方ニ行クト、
信賴シテ此ノ人ナラバ國民ノ稅ノ査定ヲ
安心シテ任シテ行カレルト云フヤウナ
人ハ、私ノ見ル所デハ非常ニ少イ、ダ
カラ之ニ付テハ大臣ガ十分踏ソ張ツ
テ、モット財務局ヤ本省ニ居ル者ヨリ
モ第一線ニ立ツテヤル方ニ力ヲ入レテ、
良イ人間ヲ——私ハ今居ル人ヲ惡イト
云フノデアリマセヌ、今居ル人ニモ
良イノガアルカラ、惡イト云フ札ヲ付
ケル必要モナイカモ知レマセヌガ、兎
モ角稅務行政ノ分ル人間ヲ第一線ニ廻
ス、又待遇モ生活シテ行カレル程度ノ
モノヲヤリサヘスレバ、拔カレヌデセ
ウ、中堅トコロノ良イノハ殆ド皆會社
ニ拔カレテ居ル、恩給ニマデ六年七年
アル者ハ殆ド拔カレテ居ル、或ハ應
召、徵用ハサレテナイガ、應召サレテ
居ル、此ノ應召ト拔カレテ行クノデ、
地方ノ稅務署ノ人ノ質ハ非常ニ低下シ

テ居ル、アレニ我々ノ税金ノ査定ヲ任
スト思ヘバ本當ニ寒心ニ堪ヘナイ、ソ
レニ付テハ大藏大臣ノ耳ニモ入ツテ居
ルデセウ、アナタハ稅ノ方ノ御出身ノ
大臣デアリマスカラ、能ク御承知デア
ルト思フノデアリマスガ、此ノ方面ニ何
カ對策ヲ御持チニナツテ居リマスカ、
ドウデスカ
○石渡國務大臣 森田サンノ仰セノヤ
ウニ至ク今日ノ稅務署ハ人手不足デ困
ツテ居ルノデアリマス、其ノ主ナル原
因ハ此ノ非常時ニ當リマシテ、國ノ御
奉公ニ當ツテ居ルノデアリマス、半數
以上ノ者ガ御奉公ニ當ツテ居リマス、
民間ニ引拔カレテ行クノモアルニハア
リマスガ、サウ大シタ數デハゴザイマ
セヌ、其ノ中デ優秀ナ分子ガ比較的拔
カレテ行クト云フ傾キガアリマスケレ
ドモ、數ノ上カラ言ヘバ今日ノ場合ニ
於テハ却テ主ニ御奉公ノ方デアアルト
思ヒマス、左様ナコトデアリマシテ、
モウ餘リ男ニハ期待出來ナイノデア
リマス、自然女ノ從業員ガ非常ニ餘計
ニ相成ツテ居ルノデアリマス、女モ計
算事務デアリマストカ、稅務ノ後方ニ
於キマスル事務ニ付テハ一人前ハ十分
ヤツテ行ケマス、唯向フ意氣ノ強イ納
稅者ニ遇ヒマス、ドウモ元氣ガゴザ
イマセヌ、ソレデ其ノ點ガ女從業者ノ
稅務行政上ニ於ケル一ツノ大キナ缺陷
デアアル、ソレデアリマスノデ、目下色
色苦心致シテ居ルノデアリマス、昨年
度ニ於キマシテモ増稅ノ機會ニ相當ナ
待遇ノ改善モ行ハレテ居ルノデアリマ
シテ、私ガ數年前大藏省ニ居リマシ
テ、其ノ方ノ人ノ位置ノ引上等ヲ考ヘ
テ居ツタ時分ト昨今トヲ比ベマス、
稅務官吏ノ實際上ノ待遇ニ付テハ相當
改善致サレツ、アルノデアリマス、隨

テ人ノ引足、斯ウ云フ時節ニ當ツテ役
人ノ引足ト云フモノガ存外鈍イノデア
リマスガ、ドウモ斯カル時節ニ於テ稅
務行政ニ優秀ナル人物ヲ、餘計ニ置イ
テ置ク必要モアルト思フノデアリマ
ス、出來得ル範圍ニ於テアナタノ仰シ
ヤツタヤウナ方向ニ向ツテ進ンデ行キ
タイト思ツテ居ル次第デアリマス
○森田(福)委員 私人ノ對スル質
問ハ是デ終リマシタ、アトハ事務當局
ニ對スル答辯ヲ留保シテ置イテ止メタ
イト思ヒマスガ、最後ニ今ノ御答辯デ
私ハ尙ホ一點希望シテ置キマスガ、婦
人稅務署員ヲト云フ御話ガアリマシタ
ガ、若シ是ガ直接稅ニ關係シテ當ルコ
トナラバ、御承知ノ通りニ少シ役ニ立
ツヤウニナレバ結婚スル、結婚スレバ
子供ガ出來テ勤メラレヌヤウニナルノ
デアリマス、カラ、女ニ餘リ期待サレ
テ、此ノ複雜ナ稅務行政ヲ其ノ儘ニ置
クヨリモ、出來ル限リ戰時稅制制度ニ
依ツテ、單純ニスルト云フ方ヲ先ニ御
考ヘ下サル方ガ宜イト思フノデアリマ
ス、私人ノ對スル質問ハ是デ終
テ置キマス
○勝委員 水谷長三郎君
○水谷委員 私人ハ先ツ最初ニ第一點ト
シテ御聽キ致シタイノハ、戰時財政ト
稅トノ關係ト申シマス、戰時財政ニ
於ケル所ノ租稅ノ地位ト云フモノニ關
シマシテ、大藏大臣ニ御尋ネ致シタイ
ト思フノデアリマス、御案内ノ通り支
那事變勃發以來八回ニ互ル増稅ガ斷行
サレテ參リ、國民ノ負擔ハ非常ニ重ク
ナツタノデゴザイマス、併シナガラソ
レハ一方戰爭日本ノ要請スル所ノ戰時
財政ノ膨脹ノ足取りニ比ベマスレバ、
非常ニ比較ニナラヌ低イ程度ノ足取り
ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、大臣モ

○勝委員 森田君ニ申上ゲマスガ、
アナタノ御質問ハ頗ル重要ナモノデハ
アリマスガ、此處ハ増稅ノ委員會デア
リマスカラ、成ベク之ニ直接關係ノア
ル問題ニ制限シテ戴キタイト思ヒマス
○森田(福)委員 宜シウゴザイマス、
直接ハ關係ガアルノデス、大藏大臣
自ラ此ノ増稅ヲヤルコトハ國庫ノ收
入ヲ增加サスコトガ半面デアアル、ア
トハ購買力ノ吸收ガ半分ツテ居ルト云
フ説明デアツタノデアリマスカラ、購
買力ノ吸收問題ニ私ハ觸レタノデアリ
マス、簡單ニヤルガ、關係ノナイコト
ハナイ、其ノ邊ハ委員長ハ能ク御承知
ニナツテ戴キタイ、大臣ノ今御話ノ
點、アナタノ方ノ大藏省ノ考ヘハ私ニ
ハ能ク分ツテ居ル、大藏省ノ考ヘテ居
ルコトハ、アナタガ表向キニソレヲ肯
定セラレテ居ラヌダケノコトデ、ドウ

ト御考ヘ願ツテ置クコトニ致シマ

地方ノ稅務署ノ人ノ質ハ非常ニ低下シ

隨

大臣モ

御案内ノ通りニ支那事變勃發當初ニ於ケル所ノ國家ノ歳出ト租稅トノ比率ト云フヤウナモノハ段々低下サレマシテ、恐ラク昭和二十年ノ資金計畫ハドウ云フ工合ニナツテ居ルカ、具體的ニ知ル由モアリマセヌガ、之ニ於ケル所ノ租稅ノ率ハ、恐ラク其ノ二割ヲ下廻ルノデハナイカト思フヤウナ次第デゴザイマス、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテ所謂戰時財政ノ道行ヲ眺メマシテ、一體是デ宜イノカ、一體戰時財政ト租稅トノ關係ハ、此ノヤウニシテ宜イノカ、或ハ戰時財政ニ於ケル所ノ租稅ノ地位ト云フモノハ、是デ宜イノカト云フコトヲ私等ハ考ヘテ、非常ニ懼レルノデゴザイマス、或ハ租稅ノ石渡カ、石渡ノ稅カト言ハレル大臣トシマシテハ、一體斯ウ云フ傾向ニ關シマシテドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、大藏當局トシテハ、又アナタトシテハ、ドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、之ニ對シテ率直ナル所信ヲ先ヅ御伺ヒシタイト思フ次第デアリマス

○石渡國務大臣 戰時ノ財政ガ出來ル限リ稅收入ニ依ツテ賄ハレルコトヲ希望スベキハ申スマデモゴザイマセヌ、併シナガラ其ノ多クノ部分ガ公債ニ依ツテ賄ハレルト云フコトモ亦是レ戰時財政ノ當然ノコトデアルト思ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ幾部分ヲ増稅ニ依ルベキカ、幾部分ヲ公債ニ依ルベキカ、是ハ勿論アナタノ能ク御存ジノ通り、或ル限度ノアルコトデアリマス、或ハ公債ニ依リ、或ハ稅ニ依リ、又其ノ時々ノ見透シ、情勢ノ變化等ニ依ツテ逐次決定致サルベキモノデアリマス、又歐洲各國ノ行キ方ニ致シマシテモ、必ズ斯クノ如キ方針ヲ行ツテ居ル譯ノモノデハナイカト思フノデアリ

マスガ、出來ルダケ稅收ニ依ツテ行キタイト云フコトノ心持ニハ變リゴザイマセヌ

○水谷委員 私ハサウ云フ抽象的ナ御答辯ヲ承リタイノデハゴザイマセヌ、申スマデモナク大臣ハ第一次「ヨーロッパ」戰争ニ於ケル各國ノ戰時財政、戰後ニ於ケル各國ノ財政ノ健全化、更ニ此ノ度ノ第二次「ヨーロッパ」戰争ニ於テ各國ガ、如何ナル財政ノ足取ヲ取ツテ居ルカト云フコトハ、既ニ御案内ノコトデアラウト思ヒマスカラ、斯ウ云フ過去ノ教訓、更ニ現在ノ教訓ニ照シ合ハセ我が日本ノ財政ヲ眺メマシテ、年々歳々龐大ナル財政ノ膨脹ノ足取ニ比シテ、租稅ノ足取ヲ考ヘテ見ル時ニ、我我ハ單ニ出來ルダケ澤山公債ヨリモ租稅ニ據ツテ行キタイト云フヤウナコトデハ、安心ガ出來ナイノデハナイカト思フノデゴザイマス、更ニ突込シテ具體的ニ聽キマシマス、來年ノ豫算全體ガドウヤウナ數字ニナルカト云フコトヲ、茲デ御聽キシヨウトハシナウトデアリマスガ、此ノ度ノ平年度十八億五百萬圓ト云フ増稅ハ、來年ノ豫算ノドウ云フ點ヲ基準ニサレ、ドウ云フ點ヲ目標ニサレテ此ノ度ノ増稅ガ斷行サレタノカ、其ノ點ヲ御聽キシタイト思フノデアリマス

○石渡國務大臣 十八億何千萬圓ノ増稅、ソレニ應答、是モ増稅デアリマス、又富籤ノ國ニ於ケル所ノ取得スベキ部分、是等モ何レモ一貫致シマシタ一ツノ實收入ノ豫算デアルト存ジマス、來年度ノ臨時軍事費ノ大キサ、臨時軍事費ノ今後ニ應ズベキ所ノ大キサガ幾何デアルカト云フコトハ今日マダハツキリ決マリマセヌガ、大體相當多額ニ相成ルベキモノトノ豫想ノ下ニ、斯クノ

如キ收入ノ増加ヲ圖ツタ次第デアリマス、隨テ臨時軍事費ガ幾何、ソレニ對スル増稅ガ幾何、何割何分ト云ツテ彈キ出シタ譯デハゴザイマセヌ

○水谷委員 ソレデハ重ネテ御伺ヒ致シマスガ、來年度ノ歳出全體ト見合セマシテ、大藏當局トシテハ此ノ度ノ増稅十分カ、或ハ不十分デアルカ、斯ウ云フ點十分ニ増稅ガ出來ナカツタノダト云フ點ヲ御聽カセ願ヒタイト思フノデアリマス、ト申シマスノハ一年前ノ去年ノ通常議會ノ増稅委員會ノ記録ヲ見マス、各委員ガ現在ノ稅制ニ於テハモウ大體増稅ノ目途ハ付イテ居ル、此ノ際稅制ノ根本ノ改革ヲ行フベキデハナイカト云フ質問ガ出タノニ對シマシテ、當時ノ大臣賀屋サンハ、稅制ノ根本ノ改革ヲ行ハネバナラナイ時期ニ到達シテ居ルヤウナ御答辯ヲサレタノデアリマス、私ハ稅ノコトハ極メテ素人デアリマスガ、現在ノ稅制ヲ見マスト大體殖ヤセルモノハ分類所得稅、綜合所得稅モ多少行キマセウ、更ニ間接稅、之ヲ目ノ子勘定致シマシテ或ハ三十億以上四十億、餘程點ノ甘イ人デモ現在ノ稅制デ五十億以上ノ増稅ヲ行フコトハ不可能デハナイカト云フヤウナ議論ヲスル人ガアルノデアリマス、而モ現在ノ日本ノ戰爭ノ姿ヲ見マスト、我々ハ此ノ戰爭ガ何時マデ續クカ目途ガ付カナイ、斯ウ云フ點カ續考ヘマスト、私ハ日本ノ將來ノ戰時財政ノ健全性ト云フコトヲ確保スルガ爲ニハ、此ノ際際切ツタ稅制ノ根本ノ改革ヲサレルノガ妥當デハナイカト思フノデアリマス、ソレトモ大臣ハ現在ノ稅制ノ下ニ於テ今後戰爭ガ續ク限り是ニ十分賄ツテ行ケルト云フ自信ガオアリカドウカ、其ノ點ヲ忌憚ナク御伺

ヒ致シタイ

○石渡國務大臣 先ニモ申述ベマシタ通り増稅ノ計畫ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテハ、臨時軍事費ノ總額ト云フモノガ幾ラ位ニ相成ツテ來ルモノデアルカ、追加豫算ト云フモノガ幾ラ位ニ相成ツテ來ルモノデアルカ、是ノハツキリ決マラナイ間ニ大體ノ見透シヲ致シマシテ、相當増加致スベキモノトシテ茲ニ立案ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ戴キタイト思ヒマス

我ガ國ノ租稅制度ヲ根本的ニ改正シタラバ、モツト増稅ガ出得ルカト申セバ私ハ出得ナイト思フノデアリマス、今日ノ稅制ガ稅收入ノ上ニ於テハ最モ出得ル稅制デアルト考ヘマス、今日ノ稅制デ今日以上ニ税金ガ出テ來ナイカドウカ、是ハ御承知ノ通り税金ノ殖エテ來ル途ト云フモノハ二途ゴザイマス、一ツハ稅率ノ増加デアリ、他ノ一ツハ所得其ノモノノ増加デアリマス、此ノ二ツニ於テ稅額ノ増加ト云フコトヲ來スモノデアルト思フノデアリマス、稅額ノ増加ト云フモノ、詰リ所得ノ増加ト云フモノガ今後ニ於テアルカト云フト、是ハ今日ノ狀況ニ於テハ一方ニ於テハ國民ノ所得ノ問題ニ關係致シテ來ルト思フ、國民所得ノ問題ハ今日ノ現狀ニ於キマシテハ財政ニ依存致シテ居ル所ガ極メテ多イト思フノデアリマシテ、財政資金ノ撤布、ソレニ伴フ產業資金ノ撤布等ニ於キマシテ、相當國民ノ所得ノ増加シテ來ル局面ガアルト思フノデアリマス、其ノ餘地ハ今後ニ於テアルカト云フ御尋ネデアリマスレバ、私ハアルト思フ、稅率ガ此ノ上ニ増加致スコトガ可能デアアルカト云フ御尋ネデアルナラバ、私ハ是モ可能デアアルト

思フガ、ソレデアアルナラバ今年何故一杯ニ出サナカッタノデアアルカ、可能性ガアルト云フナラバ其處マデ行ツタラバ宜イデヤナイカト云フ御尋ネモアルカト思フノデアリマス、併シナガラ昨年度大増稅ヲ行ツタ後、今年モ亦相當ノ増稅ヲ行フノデアリマス、又此ノ増稅ニ付キマシテ、銃後ノ經濟ニ於キマシテモ相當ノ影響モアルコトデアアルノデアリマス、各般ノ事情ヨリシマシテ、今年ハ此ノ程度ノ増稅ガ妥當デアアル、斯様ニ認メタ次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○水谷委員 國民所得ノ問題デスガ、大臣ハ前ノ臨時議會ノ豫算總會デ或ル委員ノ質問ニ對シテ、ドウモ國民所得ト云フモノハ、中々算定ガ難カシイノダ、是マデヨク國民所得ヲ基準ニ大藏省ハ色々物ヲ言ツテ居ツタガ今後ハソレヲ改メタルト云フヤウナ意味ノコトヲ述ベテ居ラレルノデアリマスガ、來ルベキ來年ノ資金計畫ニ於キマシテ、ヤハリ國民所得ハ從來ノヤウナ算定方法ニ依ツテ一應ソレヲ目安ニサレルノカ、ソレトモ從來ノ算定方法デハドウモ信用ガ出來ナイ、ハツキシシナイト大臣ガ言ハレタヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ御考ヘデアルカ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○石渡國務大臣 國民所得ノ問題ニ付テ、此ノ前ノ議會ニ於キマシテ豫算總會デ田中貢氏ノ御尋ネニ御答ヘ致シマシタ私ノ御答ヘト云フモノハ、極メテドウモ曖昧デアツタト云フコトデ、屢々御叱リヲ受ケテ居ルノデアリマス、國民所得ノ算定困難デアリマスコトハ、私ハ今日モ左様ニ信ジテ居リマス、是ハ中々難カシイ問題デアアルノデアリマスガ、併シナガラ斯様ナ時代ニ於ケル

一ツノ豫算ノ査定、公債ノ發行、租稅ノ増徴等ノ一應ノ梓トシテハ、私ハヤハリ國民所得ノ算定ト云フコトヲ致ス必要ガアリ、又左様ナ一應ノ梓ヲ考ヘマセバ危イ點モアルト思フノデアリマス、ソレレ前大臣ガヤツテ居ラレマシタヤウナ國民所得ノ梓ハ、是非今年モ考ヘタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○水谷委員 私人國家資金計畫ヲ御立テニナル其ノ本ノ國民所得ト云フモノガ、大臣ノ仰シヤツタヤウニ不確カナモノデアルト云フヤウナコトニナリマスト根本的ニシテ居ルコトノデ、是非非常ニ何シテ居ルコトデアリマスガ、從來國民所得ノ日本ノ算定ノ方法ハ、一派ノ人ハ是非非常ニ甘過ギルト云フ説ヲ爲シ、又一派ノ人ハ是非過ギルト云フ説ヲ爲シテ居ルコトデアリマス、大藏省ト致シマシテハ、私ノ從來ノ結論的ナ物ノ見方カラ致シマス、國民所得ヲハツキリ決メテ色々ノ資金計畫ガ立ツノデナシニ、國家資金計畫ガ立ツテ、其ノ上ニ國民所得ハ斯ウシナケレバ成立タナイ、勘定ガ合ハヌト云フヤウナ見方ガ多々アル、是非非常ニ不確カダト思フ、況シテ只今増稅ノ問題ノ場合ニ於テモ、消極面ト申シマセウカ、一方ニ於テハ稅率ヲ引上げ、一方ニ於テハ所得ノ増加ト云フヤウナ點ニ關シマシテ關聯致シマス、其ノ點ハ非常ニ重要ナ點ヲ持ツテ來ルト思ヒマス、ソコデ御尋ネ致シマスガ、何時モ増稅ノ目標ハ國家收入ノ増加ト購買力ノ吸收ト云フコトガ二大眼目ニナツテ居リマスガ、此ノ二ツガ共ニ行ハレル場合ハ宜イノデアリマスケレドモ、若シドチカラカテ、行カナケレバナラヌト云フ場合ニ於キマシテハ、私ハ

ヤハリ戰時増稅ノ目標ト云フモノハ明カニ國家收入ノ増加ト云フ點ニ置カナケレバナラヌ、隨テ今後ノ増稅ノ所謂目的物ト云フモノハ、如何ナル稅ニ重點ヲ置カナクテハナラナイカト云フ點ハ、ソレニ依ツテ定ツテ來ルノデハナカド思フノデアリマス、隨テ大臣ト致シマシテ、只今ノ稅制十分ダ、是レヲ行ケルト云フヤウナコトニ私ハ拜察致シタノデアリマスガ、サウスレバ今後ノ戰時増稅ノ問題ハ主トシテ分類所得稅ヲ中心トシテ行ハレル、ソレヨリ外ニ手ガナイヤウニ思フノデアリマスガ、ソレレハイカヌ、ソレレハ此ノ分類所得稅ト云フモノニ關シテモウ少シ工夫ヲ凝ラス必要ハナカドウカト云フ點ニ關シマシテ御説明ヲ伺ヒマス

○石渡國務大臣 御尤モデアルト思フノデアリマシテ、分類所得稅ニ付テ私ハ餘程工夫ヲ凝ラシテ行ク必要ガアルヤウニ存ジマス、色々各國ノ稅制ヲ比較致シ、又色々其ノ法律、實地ト云フヤウナ關係カラ致シマシテモ、ドウモヤハリ大キナ收入ヲ得ル一ツノ財源ハ一面ニ於テハ分類所得稅、一面ニ於テハヤハリ賣上稅、一般物資ニ對シテ何パーセントノカノ稅ヲ課セルト云フ所ノ此ノ賣上稅デアリ、間接稅ト致シマシテハ賣上稅デ、直接稅トシテハ分類所得稅、此ノヤウナ形態ノモノガ主トシテ大キナ收入ヲ擧ゲテ居ルヤウニ思フノデアリマス、一面ニ於キマスル此ノ賣上稅ヲ實施致スカドウカト云フコトハ殆ド此ノ十年間考ヘラレテ來タコトデアリマシテ、稅制改正ノ度ニ考ヘラレタル物品稅ノ形ニ於テ今日賣上稅ノ一部ガ實施致サレテ居ルノデアリマス、

若シ將來ヤハリ問題トシテ取上ゲラレル場合ニ於テハ、斯様ナ物品稅ト云フモノ、ソレカラ一面ニ於テハ分類所得稅、斯ウ云フモノ、稅ノ内容ノ整備、其ノ時代ニ合フ所ノ行キ方ト云フモノガ考ヘラレテ行クノデアアルマイカト思フノデアリマス、併シナガラ綜合所得稅デアリマス、又相續稅デアリマス、斯様ナ富裕階級ト言ツテハ少シ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、所得ノ多イ者、又財產ノ大キナ者ガ相當ナ負擔ヲ致シテ行クト云フコトモ、今後ニ於テ忍セニスベカラザル點デアアルコトハ勿論デアルト存ジマス

○水谷委員 ソコデ私ハ大臣ニ御尋ネ致スノデアリマスガ、此ノ物品稅ヲ今後擴張サレテ行カレルノカ、ソレトモ之ヲ全部一本ノ賣上稅トシテヤツテ行カレルカ、先ニ大臣ガ申サレマシタヤウニ、ソレレハ水谷、オ前ハ稅制ノ根本的刷新ト云フガ、一體ドノヤウニ刷新スルノカ、サウシテ刷新シテ一體現在ノ稅制ニ比ベテドノ程度ノ增收ガ得ラレルカト云フヤウナコトヲ逆襲サレレバ、私モソレニ對シテ即座ニ答辯出來ナイコトハ、是非率直ニ認メテモ宜イト思ヒマス、併シナガラ少クモ此ノ分類所得稅ト共ニ此ノ賣上稅ト云フモノダケハ、一ツ根本的ニ解決スベキ問題デアリナイカト思ヒマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、從來ノ大藏省ノヤリ方ノヤウニ範圍ヲ擴メテ行カ、ソレトモ原則トシテ一ツノ一般の賣上稅ヲ認ムルカ、是ハ大キナ問題デアラウト思ヒマス、大藏省ハ今後分類所得稅ト共ニ此ノ物品稅ト云フモノヲ重視サレルト云フノデアリマスガ、ソレレ從來ノヤウナ行キ方デ行カレルノカ、ソレトモ此ノ際一ツノ一般の賣上稅ト云フヤウナモノ、行キ方デ行カレルノカ、其ノ點ハ如何デスカ

○石渡國務大臣 只今ノ所之ヲ賣上稅ト云フコトニ致シマシテ、私ハ食糧ノ問題ハドウスルカト云フ問題ガアルト思フノデアリマス、若シ食糧ノ問題ハ、是ハ御承知ノ通り賣上稅ヲ課稅致シテ居ル所ト課稅致シテ居ナイ所トゴザイマス、私ハ斯カル事態ニ於テ此ノ食糧ニ賣上稅ヲ課稅致スルコトハ餘程ノ問題デアラウカト思ヒマス、隨分躊躇致サレル所ガアルノデアリマシテ、今日ニ於テモ此ノ食糧、殊ニ主要ナル食糧ニ付テハ課稅シテ居リマセヌ、料理屋等ノ料理代ニハ課稅致シテ居リマスケレドモ、食糧其ノモノニ付テ課稅致スルコトハ致シテ居ラヌガ、若シ此ノ食糧ニ課稅シナイト云フコトト致シマス、今日一體物品賣上稅トシテ一般ニ擴ゲテドノ程度ノ收入ヲ今日ノ狀態ニ於テ得ルカト云フコトニ付テ餘程ハ檢討致サルベキ問題デアラウト存ズルノデアリマス、私ハ一昨年支那ニ於キマシテ此ノ賣上稅ヲ支那政府等ニ進言シマシテ起シタノデアリマス、昨年來實行致シテ居リマシテ、上海其ノ他ノ都市ダケニ之ヲヤツタノデアリマス、昨年非常ニ大キイ收入ヲ擧ゲテ居ルノデアリマスガ、併シテガラ支那ノ上海デアリマスガ、南京デアリマスガ、其ノ他杭州デアリマスガ、ア、云フ所ノ物品賣上稅ト云フモノハ、値段ハ隨分高イノデアリマスガ、高イニ從ツテ稅收入ハ餘計ニ相成ツテ來ルノデアリマスガ、品物ガ高クナルニ從ツテ縱橫ニ動イテ來ル、斯様ナコトニ相成ルノデアリマシテ、隨テ賣上稅ト云フモノハ相當ナル收入ノ増加ヲ示シテ居ルノデアリマス、主

トシテ此ノ統制致サレタ必需物資ニ、專ラ其ノ生産ヲ望マレテ居ル今日、又當然ノコトデアリマスガ、左様ナ場合、物品稅ノ範圍ヲ擴張シ、賣上稅ヲ施行シ、而シテ食糧ニ課稅シナイ場合ニ於テ果シテ幾何ノ價值ガアルカト云フコトニ付テハ餘程檢討致スベキ問題デアラウト思ヒマス、私ハ決シテ賣上稅ニ反對致スモノデハゴザイマセヌガ、反對致スモノデハゴザイマセヌガ、併シ今後ニ於ケル食糧ト云フモノニ付テハ餘程檢討スベキ價值ガアルヤウニ存ジマス

○水谷委員 次ニ大臣ニ御尋ネシタイノハ、大藏省デハ國民所得ト云フモノヲ研究サレテ居ルコト共ニ、國民ノ生計費ト云フヤウナモノヲ御研究ニナツテ居ルカドウカト云フ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、イツモ増稅ノ場合ニ於キマシテ大藏省モ、更ニ又御用學者ト言ヘバ語弊ガアリマスガ、學者ナシカモイツモ國民所得ト租稅ノ率ヲ比較致シマシテ、日本ハ外國ニ比ベテ「パーセンテージ」ハ此ノヤウニ低イ、モツト増稅出來ルノダト云フヤウナコトヲ盛シニ言ハレマス、今度ノ増稅ハ新聞ニ發表ニナツタ時モ、新聞紙面ヲサウ云フ言葉デ賑ハシテ居ルノデアリマスガ、是非私ハ楯ノ半面モ甚ダシイト思フノデアリマス、私等ハ此ノ増稅ヲ論ズル場合ニ於キマシテハ、一面ニ於テ國民所得ト租稅トノ比率ト云フヤウナモノハ、是モ一ツノ考ヘ方デアリマスガ、他面ニ於テハ必ず其ノ國ノ社會政策、厚生政策ト申シマスガ、ソレレガドノ程度ニ行届イテ居ルカト云フコトヲヤハリ考ヘナクテハナラヌノデアリナイカト思フノデアリマス、今日統制經濟ト自由經濟

ノ區別ハ色々ノ面カラサレテ居リ
 マスガ、私ガ一番良イ區別ノ方法ハ
 何デアカト申シマスレバ、自由經濟
 ハ儲ケハ個人ノ勝手次第、併シナガラ
 個人ノ生活ノ危險負擔ハ其ノ大部分ハ
 個人ガ之ヲ負ハナクテハナラナイ、是
 ガ自由經濟ノ特徵デアル、之ニ反シマ
 シテ統制經濟ハ個人ノ儲ケハ公ノ儲ケ
 ニ一致シタ範圍ニ於テ許サレ、併
 シ其ノ半面ニ於テハ個人ノ生活ノ危險
 負擔ハ、出來ル範圍ニ於テ國家並ニ社
 會ガ負フト云フノガ、是ガ統制經濟ノ
 自由經濟ト違フ大キナ點デアラウト思
 フ、隨テ増稅ト云フ場合ニ於キマシテ
 ハ、單ニ大臣ガ申サレマシタヤウニ、
 率ノ引上ゲ、ソレト所得ノ増加ト云フ
 コトダケデハナシニ、他面ニ於テ其ノ
 國ニ於テ社會政策、厚生政策、國民ノ
 生活問題ト云フモノガ、國家並ニ社會
 ノ點ニ於テ如何様ニシテ解決サレテ居
 ルカト云フコトガ、是ガ大キナモノウ
 ツノ物差シニナラウト私ハ思フ、言葉
 ヲ換ヘテ申シマスレバ、大藏省ニ於テ
 今後此ノ戰時ノ増稅ヲサレル場合ニ於
 キマシテハ、單ニ稅ノ率ノ問題、更ニ
 所得ノ問題ト云フ以外ニ、國民生活ノ
 問題、社會政策、厚生政策ノ滲透度合
 ト云フモノヲ能ク御考ヘニナラナクテハ
 ラナイノデハナイカト思ヒマス、之ニ
 關聯致シマシテ、例ヘバ勤勞所得ト云
 フヤウナ場面ニ付キマシテモ、一體日
 本ノ勤勞者ハ其ノ所得ノドノ位ノ「パー
 センテージ」マデ稅トシテ堪ヘラレ
 ルコトガ出來ルカ、外國ノ學者ナンカ
 ハ、國民ノ最低生活費ノ研究ヲ致シマ
 シテ、公租公課ハドノ位ノ率、或ハ家
 賃ハドノ位ノ率、衣服費ハドノ位ノ率
 ト云フヤウナ工合ニシテ統計ヲ取ツテ
 居ル、私ハ今日ノ日本ノ國民ト致シマ

シテ、皆之シキヲ憂ヘズ、眞裸ニナツ
 テ租稅奉公ヲシナケレバナラナイト云
 フコトハ分ツテ居ル、併シナガラ其ノ
 國民ガ得心シテ無理ノナイ程度ノ最大
 限ニ於テ喜ビ勇ンデ租稅奉公ガ出來ル
 ト云フヤウナ勇氣ヲ作ル所ノ努力
 ハ、ヤハリ大藏當局トシテシナクテハナ
 ラヌデアリナイカト思フノデアリマス、
 私ハ藝ニ大臣ガ、租稅ト云フモノヲ考
 ヘル時ニハ、率ノ引上ゲ、更ニ所得ノ
 増加ト云フ問題ダケヲ御考ヘニナリマ
 シタガ、私ハ分類所得稅ガ今後ノ増稅
 ノ中心ニナリ、其ノ場面ニ於ケル勤勞
 所得ト云フヤウナモノヲ考ヘル場合ニ
 於キマシテハ、其ノ國ノ所謂社會政策
 厚生政策ノ滲透度合ト云フヤウナモノ
 ヲ能ク御考ヘニナラナクテハナイカ
 ノデハナイカト思フノデゴザイマス、
 更ニソレニ關聯致シマシテ、日本ノ所
 謂勤勞者ハ、勤勞所得稅トシテドノ程
 度マデ負擔シ堪ヘ得ル見込カ、又ソレ
 ヲドウ云フ目安ヲ置イテ大藏省ハ御考
 ヘニナツテ居ルカ、更ニ又國民ノ生計
 費ト云フモノニ對シテ、大藏當局トシ
 テハ、國民ノ所得ト共ニ、十分ノ統計
 的科學ノ用意ヲサレテ居ルカドウカ
 ト云フ點ヲ御尋ネシタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 水谷サソノ仰セノア
 リマシタ國民所得ノ總額ト稅負擔ダケ
 デハ、納稅ガ重イカ輕イカ分ラヌデヤ
 ナイカト云フ御話ハ、私モ非常ニ御尤
 モニ思フノデアリマスガ、左様ナ場合
 ニ於テ國民所得ノ其ノ總額ガ一體何人
 ニ依ツテ負擔サレテ居ルノカ、少クモ
 人ノ數ノ要素ト云フモノガ茲ニ含マレ
 テ來ナケレバナラス、一千人ニ依ツテ
 其ノ所得ガ構成サレテ居ルノト、一萬
 人ニ依ツテ構成サレテ居ルノトデハ、
 稅負擔ノ上ニ於テ非常ナ差ガアルト思
 フノデアリマス、又其ノ場合ニ於キ
 マシテモ左様ナ方面ニ餘程頭ヲ使ツテ
 考ヘナケレバ、唯國民所得ノ總額ト稅
 ノ總額ト比較致シマシテモ、其ノ間
 ニドウモ重イノカ輕イノカ、一概ニ判
 斷シ得ザルモノアルト云フコトハ全ク
 御同感デアリマス、ソレニアナタノ仰
 シヤルヤウナ色々ナ厚生政策、社會政
 策等ノ場面ニ於テモ、勤勞所得等ノ稅
 負擔ト云フモノハ考ヘラレベキモノダ
 ト云フ御話ハ、私モ其ノ通りニ存ジマ
 ス、生計費其ノ他ノ資料ヲ大藏省ハ作
 ヲテ居ル管デアアルガ、左様ナモノトド
 ウ脱ミ合セタカト云フ御話デアリマシ
 タガ、大藏省ハ別ニ生計費ノ負擔等ニ
 付テノ基礎調査ハ致シテ居リマセヌ、
 内閣ニ於キマシテ調査研究員總本部
 ニ於テ斯クノ如キ調査ヲ致シテ居ルト
 云フ話ハ聞イテ居リマス、二三勤勞所
 得者ノ生活ニ付テ、今日ニ於テ一人デ
 生活シテ居ル人ハ幾ラト云フヤウナ計
 算ハ致シテ居ルヤウデアリマスガ、左
 様ナ計算ノ下ニ今日稅額ヲ算出致シテ
 居ル譯デハゴザイマセヌ

○水谷委員 ソレニ關聯致シマシテ、
 今日戴イタ資料ノ中、直接稅ト間接稅
 トノ分類ガアリマシテ、ソレニ間接稅
 ノ方ニ專賣局ノ益金ト云フモノガ入ツ
 テ居ル、是ハ前ニモヨク問題ニナツタ
 議論デアリマスガ、若シ大藏省ガ間接
 稅ノ所ニ專賣局ノ益金、煙草ノ値上ゲ
 等ヲ入ラレテ、實質的ナ間接稅トシ
 テ認メラレタ時ニハ、此ノ煙草ノ値上ゲ
 ト云フモノニ對シテモ少シヤリ方ニ
 工夫ガアツテ宜イノデハナイカト思ヒ
 マス、前ニヨク議會デ、煙草ノ値上ゲ
 ナンカハ、是ハ間接稅ダカラ、議會ノ
 協贊ヲ經ベキデヤナイカ、一方ニ於テ
 酒ノ値上ゲハ協贊ヲ受ケルデハナイ

カ、煙草ノ値上ゲヲ關打のニヤルノハ
 怪シカラヌデヤナイカト云フ時ニ、大
 藏省ノ御答辯ハ、ソレハ理窟ハ尤モデ
 アルケレドモ、サウ云フコトヲスルト
 實情ニ買溜メガ行ハレテ、其ノ點ダケ
 デサウ云フコトハ出來ナイノダ、斯ウ
 云フノガ大藏當局ノ決マツタ御答辯デ
 アツタノデアリマス、所ガ今日煙草ト
 云フモノハ、ア、云フ工合ニシテ統制
 ニナツテ居ツテ、賣惜ミスルコトモ買
 占メスルコトモ出來ナイ、現ニ今度
 モ煙草ノ値上ゲヲスルト云ツテ、大
 藏當局ノ御話ニ依レバ、増稅案ガ議會
 ヲ通ツテカラ後ニヤルノダト云フヤウ
 ナ、尤モ御答辯ガアリマシタガ、斯
 ウ云フ時ニナレバ、私ハ色々ノ面カラ見
 マシテ、是ハ非常ナ改正ニナルカ知レマ
 セヌガ、煙草ノ値上ゲハヤハリ酒ノ値
 上ゲト同様ナ手續ヲ履マレテ宜イノデ
 ヤナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリ
 マスガ、此ノ點ハ大藏當局ニ於テハド
 ウ云フ風ニ御考ヘニナリマスカ

○石渡國務大臣 煙草ノ値上ゲニ付キ
 マシテ、從來政府ガ之ヲ實行致シテ來
 テ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデア
 リマスガ、買占メ、賣惜ミ等ノ現狀
 ヲリ致シマシテ、已ムヲ得ズト云フコト
 ヲ申上ゲ來ツタコトモ承知致シテ居ル
 ノデアリマス、今回配給制ニ致シタノ
 デデアリマスガ、配給制度ニ付キマシテ
 モ、實ハ前ノ制度ヲズツト實行致シテ
 行クベキカ、或ハ變更致スヤウナ事情
 ニ迫ラレテ來ル場合ガアラウカ、色々
 ナ點カラ考ヘサセラル、問題モアルノ
 デデアリマス、今日ノ情勢ニ於キマシ
 テ、幸ヒ國民諸君ノ御援助ニ依リマシ
 テ、配給制度ガ圓滑ニ行ツテ居ルノデ
 アリマス、一體私ハ配給制度ニハ反對
 ヲ致シテ來テ居ツタノデアリマシテ、

煙草ノヤウナ各人ガ喫ムカ喫マヌカ分
 ラヌモノヲ配給スルコトハワカシイト
 云フ觀念デ、實ハ一貫シテ左様ナ主張
 ヲシテ來タノデアリマスガ、支那ニ於
 テモ左様ナコトヲスル場合ニハ私ハ常
 ニ反對ヲシテ來タノデアリマシテ、ド
 ウモ已ムヲ得ズ斯様ナコトヲ實行致ス
 ト云フコトニ相成ツタノデアリマス
 ガ、實行後ノ成績ハ今日比較のニ宜シ
 イ、二日三日前ノ新聞ヲ見マサルト
 「アメリカ」デモ煙草ノ配給ヲヤル、一
 人一日十五本デアルト云フコトガ新聞
 ニ出テ居リマシタガ「アメリカ」デモ
 煙草ノ配給ヲヤルト云フコトデアアル
 ナラバ、此ノ煙草ノ配給ニモ戰時ノ經濟
 ノ行キ方トシテ一ツノ意味ガヤハリ
 ルコトデアアルヤウニモ思フノデアリマ
 ス、斯ウ云フ制度ヲ永續シテ行クコト
 ガ決マルナラバ、只今アナタノ仰シヤ
 ヲタヤウナ法律ノ改正モ宜イカト存ジ
 マス、唯私ハ今日此ノ場合ニ於テハ、
 大藏省ノ一存デ煙草ノ値上ヲ實行シテ
 之ヲ發表スルコトハ穩カデナイ、ヤハリ
 實質上ニ於テ間接稅ノ一部デアリマス
 カラ、其ノ他ノ間接稅ノ法律案ヲ十分
 御審議ヲ願ヒ、又煙草ニ付テモ色々御
 尋ネノ點モアルカト思ヒマスガ、色々
 御意見モ伺ツテ、改正案ノ通過後ニ煙
 草ノ値上ヲ實行致ス、斯ウ云フヤウニ
 致ス方ガ宜カラウト思ヒマシテ、實ハ
 斯様ナ態度ヲ執ツタ譯デアリマス

○水谷委員 最後ニチヨツト二ツ程開
 イテ置キマスガ、藝ニ私ノ最初ノ問題
 ノ租稅ト公債ニ關シテハ出來ルダケ租
 稅ニ依リタイト云フ御話ガアリマシタ
 ガ、藝ニ調査表ヲ戴キマス、直接稅
 ト間接稅ノ比率並ニ各國ノ直接稅ト間
 接稅ノ比率ト云フヤウナモノヲ戴キマ
 シタガ、大藏當局ト致シマシテハ、今

後増税ハ、直接税ヲ中心ニサレテ行ク
ノカ、ソレトモ間接税ヲ中心ニサレテ
行クノカ、或ハ其ノ比率ヲドウ云フ工
合ニ御ヤリニナルノカ、大體分類所得
税並ニ賣上税ヲ中心ニスルト云フコト
カラ見マスレバ、大體ソレノ答辯ハ得
ラレテ居リマスガ、其ノ點ニ關シテモ
少シハツキリシタ御答辯ヲ願ヒタイ、
ソレカラモウ一ツ、時間ガアリマセヌカ
ラ序デニ申上ゲマスガ、此ノ頃速記録
ガ非常ニ遅イ爲メ、新聞ノ記事ニ依
ラケレバナラナイノデアリマスガ、大藏
大臣ハ本會議ニ於テ通貨ノ後退の現象
ヲ非常ニ歎イテ居ラレマシテ、日本銀行
券ノ昨昭和十九年中ニ於ケル平均發行
高ハ百二十億五千餘萬圓ト相成ツテ居
ル、通貨流通高ノ増加ハ避ケ難キコト
ナガラ、其ノ膨脹、度ヲ超ユルニ於テ
ハ、物價ノ昂騰ヲ促シ、經濟ノ安定ヲ
害シ、銃後戦力ノ低下ヲ來ス虞レガ
アルノデ、之ヲ抑止スルノ要アルコトハ
申スマデモナイ、是ガ爲ニ云々ト云フ
ヤウナコトヲ言ハレテ居ルノデアリマ
シテ、從來ノヤウニ、或ハ貯蓄ノ獎勵
トカ、色々ノコトヲ言ツテ居ラレマス
ガ、此ノ問題ニ關シテ大藏大臣トシテ
ハ今後、從來考ヘテ居ラナイ何カ新シ
イ手ヲ御打チニナル用意ガアルカドウ
カ、此ノ通貨ノ後退の現象ニ關シテ、
大藏當局トシテハ、此ノ二十年度ニ對
シテ、何カ新シイ手ヲ打タレル用意ヲ
サレテ居ルノカドウカ、ソレトモ從來
ノ公債或ハ貯蓄ノ獎勵、サウ云フモノ
以外ニ出ナイノカドウカ、此ノ點ヲ一
ツ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 直接税、間接税ノ比
率等カラシテ將來ト云フ風ナ方面ニ
重キヲ置カ、斯様ヲ御尋ネデアリマ
スガ、私ハ今日ノ戰局ノ段階ニ於キマ
シテ、今後ノコトヲ考ヘマスレバ、ヤ
ハリ重點ハ直接税ニ置カルベキモノデ
アルト存ズルノデアリマス、間接税ノ
方ハ、税率ハ相當上ゲマシテモ、サウ
稅收入ヲ期待致スコトハ困難デアラウ
カト存ズルノデアリマシテ、將來ノ問
題ハヤハリ直接税ニ重點ヲ置カレテ、
恐ラクハ増收ヲ圖ラレテ行クノデア
ルマイカ、斯様ニ考ヘマス

其ノ次ニ御尋ネノアリマシタ「イン
フレーション」ノ問題ニ付テハ、色々
ト考ヘラレテ居ルノデアリマス、一
面ニ於テ財政資金デアリマス、一面
ニ於テ産業資金デアリマス、其ノ産業資
金モ財政資金ニ負フ所ガ多イノデア
リマス、ヤハリ國民ノ愛國心ニ依ル所
ノ貯蓄ノ増強ト云フコトガ銃後經濟ニ於
ケル通貨ヲ收縮シテ行ク方面ニ於ケル
大道デアルト思ヒマス、此ノ常道、大
道ハ是非更ニ進進ヲ致ス必要ガアル
モノト存ジテ居リマス、更ニ只今軍需
金融等特別措置法ト云フモノヲ出シテ
居リマスガ、是ハ一面ニ於テハ迅速敏
活ニ今日ノ軍需産業會社等ニ資金ヲ供
給ヲ致シマスト共ニ、其ノ効率化ヲ圖
リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、此
ノ効率化ヲ圖リタイト云フコトニハ、或
ハ銀行員ガ各省ノ役人ノ代リニ其ノ軍
需會社ノ經理ノ検査ニ當ルトカ云フヤ
ウナコトモ含マレテ居ルノデアリマス、
隨テ大藏省トシテハ是等ノ金融機關ヲ
通ジテ軍需會社ニ對スル金融、詰リ今
日ノ最モ大キキ産業資金ノ動カ方面ニ
於テ資金ノ效率ノ見地ヨリシテ其ノ
内容ニ入ツテ見タイト考ヘテ居ル次第
デアリマス、又一面ニ於テハ富鐵モ發
行シテ見タイト思ツテ居ルノデアリマ
ス、財政方面ニ於テモ、若シ資材等ガ
今日ヨリ更ニ廻ラナクナツタヤウナ場

合ニ於テハ、昨年同様實行豫算ヲ組
ンデ、左様ナ不用ニ相成ルヤウナ豫算ニ
付テハ出來ルルダケ實行上ノ節約ヲシテ
行キタイトモ考ヘテ居リマス、大體斯
様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○水谷委員 此ノ問題ニ對スル政府ノ
從來ノヤリ方ハ、主トシテ大衆ニ責任
ヲ負ハスト云フカ、其ノ購買力ノ吸收
ハ大衆ノ方ニヤラスト云フ傾キガ多分
ニアツタヤウニ取レルノデアリマス、
私ハ今後ハ何ト云ツテモ此ノ問題ハ政
府自ラガ率先垂範シテ、根本的ニ本元
ノヲ國民ノ側ニ於テヤラウト云フコト
ハ、非常ニ難カシイノデアリカト思
フノデアリマス、私ハ今後政府ハ此ノ
點ニ關シマシテ、自分ノ責任ニ於テ、
自分ノ力ニ於テ、十分ナル根本的ナ對
策ヲ講ゼラレシメテ、十分ナル望ミヲ
マシテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シ
マス

○石渡國務大臣 只今ノ御意見ノ點ハ
十分ニ承致シマシタ、政府トシマシ
テモ出來ルル限リ左様ナ方向ニ進ミタイ
ト思ヒマス

○勝委員 午後、主トシテ政府委員
ニ對スル質問ヲ進行シタイト思ヒマ
ス、大藏大臣ニ對スル質問ハ明朝ノ十
時カラ願フコトトシマシテ、今日ハ午
後一時カラ再開致シマス、是ニテ休憩
致シマス

午後一時十九分開議

○勝委員 是ヨリ開會致シマス

森田福市君

○森田(福)委員 昨日大藏大臣ニ御尋
ネシタ時ニ、行政手段ニ依ツテ取立テ
ルト云フコトガアリマシタガ、ソコデ

私ハ事務的ニ入ツテ御尋ネスルノデア
リマスガ、閣ノ仲介ナドシテウシト金
儲ケヲシタ者、是モ率直ニ言ヘバ我々
ノ知ツテ居ル範圍内ハ半島人ガ非常ニ
多ク其ノ仲介ヲヤツテ居ル、サウシテ
小成金カ大成金カ知ラナイガ資産ヲ相
當集メテ居ル、斯ウ云フ方面ノ一種ノ
新興成金ト云フカ、金ヲ儲ケタ方面ニ
ハ營業稅モ所得稅モ今ノ稅法デハ課ケ
ラレナイノデアリカ、隨テ此ノ途
ヲ開カケレバナラナイ、ソレハ刑事
措置デヤレバ宜イデアリカト云フコ
トハ別問題デス、閣ヲヤツテ金ヲ儲ケ
テ、ソレガ暴レテ刑事上ノ措置ヲ受ケ
ルト云フコトハ何萬人ニ幾人アルカ知
ラナイガ、大部分ハ刑事上ノ措置ハ免
レテ居ルノガ今ノ狀況デアル、其ノ問
題ハ別トシテ、是等ノ國法上ノ犯スベ
カラザルコトヲヤツテ儲ケテ居ル方面
ニ對シテ、一般國民ガ受ケテ居ル分額
所得稅、總合所得稅課ケルモノデア
ルト云フ意見ヲ持ツテ居ル、ソレハ行政
手段デ以テ考慮シテ居ルト云フ大臣ノ
御答辯デアツタガ、主稅局長ハ斯ウ云
フ方面ノ課稅ハドウ云フ所ニ據ツテ、
ドウ云フ方法デ是カラ課稅シヨウトセ
ラル、ノデアリカ、課稅ハ是非トモ
スベキモノデアアル、惡イコトヲシテ儲
ケタ人間ニハ尙更更課ケナケレバナ
ラナイモノデアアルト考ヘテ居ルノデ
スガ、之ニ對シテ、私ノ質問ハ簡單デ
スガ、趣旨ハ能ク分ツタラウト思ヒマス
カ、局長カラ十分分ルヤウニ御話シ願
ヒタイト思ヒマス

者ニ對シテ課稅ハ稅法上致ス建前ニナ
ツテ居ル、但シ誰ニドウ云フ所得ガア
ルカト云フコトガ分ラナイ爲ニ稅法ガ
動カナイト云フコトガ概ネ實情デア
ラウト思フノデアリマス、中ニハ御話ノ
ヤウニ分類所得稅ヲ課稅致スベキ者モ
アリ、營業稅其ノ他臨時利得稅等モ新
興階級ニ總テ現行法デ課稅致スヤウ
ニナツテ居リマスガ、新興所得階級ト申
シマシテモ店舖ヲ構ヘテ下請工場ヲヤ
ツテ居ルヤウナモノ、日傭人夫、小運
送業者、請負業者、色々ノ日用品ヲ修
繕スル者、或ハ都市附近ノ農業者デア
ルトカ、特殊ナ業者ト云ツタヤウニ
各方面ニ分レテ居リマシタ、之ニドウ云
フ稅ヲ課ケルカト云フコトハ色々アリ
マシテ、或ハ分類所得稅ノミノ場合モ
アリ、或ハ營業稅、臨時利得稅等課稅
ニナツテ居ルモノモアルト思ヒマス、
何レニ致シマシテモ先程申シタヤウ
ニ、是ハ結局稅法ハナク、何人ガド
ウ云フ所得ヲ取ツテ居ルカト云フコト
ヲ捉ヘルコトガ洵ニ困難ナ問題デア
ツテ、寧ロコ、ニ主力ヲ注グベキモノデ
アルト考ヘテ居ル次第デアリマス、併
シナガラ是ハ今マデモサウ云フ方面ニ
力ヲ入レナイ譯デアリナイノデアリマ
スガ、申々捉ヘラレナイト云フ實情ニア
リマシテ、コ、デ格段ノコトヲヤラ
ケレバ到底捉ヘラレナイト考ヘテ居
マス、ソコデ色々ト斯ウ云フ新興所得
階級ノ所得ヲ捕捉スルコトニ研究ヲ重
ネテ居ルノデスガ、只今ノ所案トシテ
持ツテ居リマスノハ、先ツ稅務ノ徵稅
機構ノ内部ニ於キマシテ、財務局、稅
務署ヲ通ジテ新シイ課稅ヲ設ケテ、ソ
コニ優秀ナル稅務部内ノ者ヲ集メマシ
テ、サウ云フ方面ノ調査ニ專念セシメ
ル、勿論稅務員ガ今手不足デアリマシ

○田中(豐)政府委員 所謂新興所得階
級ノ課稅ノ問題デアリマスガ、昨日モ大
臣カラ申上ゲマシタヤウニ現在新興所
得階級ヲ免稅致シテ居ナイコトハ御承
知ノ通りデアリマシテ、ソレレノ所得

テ、此處(十分人)ヲ集メ得ルカドウカト云フコトモ非常ニ問題デアリマスガ、普通ノ事務上今マデヤツテ來テ居リマシタ平常ノ事務ヲ極力簡素化致シマシテ、多クノ人ヲ此處へ生ミ出スヤウニ致シマスシ、又此ノ際斯ウ云フ方面ニ新シイ人員ヲ取ルコトハ時節柄困難ナコトデアリマスノデ、事務囑託ト云フヤウナ制度ヲ設ケマシテ、普通ノ官吏デハナク、少シ毛色ノ變ツタ人、昔色々ナ商賣ヲヤツタ人、保險ノ外交員デ外交ノ手腕アル人、サウ云フヤウナ人ヲ事務囑託致シマシテ、サウ云フ方面ニ適當ニ活用シテ行クト云フコトヲ内部ノニハ圖リタイト考ヘテ居リマス、又外部ノニハ警察、地方事務所、市町村其ノ他サウ云ツタヤウナ官廳ト緊密ナル連絡ヲ執リマシテ、又勞務報國會デアルトカ、産報デアルトカ、農業會デアルトカ、各種業者ノ組合デアルトカ、サウ云フ所ニ總テ囑託ヲ置キマシテ、一ツノ業態組織ヲ持つ方面ハ其ノ方カラ多クノ資料ヲ得ルヤウニ致シ、又御話ノヤウニサウ云フ組織ヲ持タナイ勞務者其ノ他「ブローカー」ノ如キ者ニ付キマシテモ今度地域ノ租稅方面委員ノモノヲ設置致シマシテ、市町村ノ部落會トカ町會等ノ適當ナ者ニ委囑スル、或ハ租稅ニ關スル委員ヲサウ云フ方面ニ委囑スルト云ツタヤウニ地域職域ヲ通ジテ色々ナ囑託制度ヲ活用シテ、先程申シタ内部機構ト相俟ツテ調査ヲ徹底致シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體考ヘテ居リマスコトハ只今ノ所サウ云ツタヤウナコトデアリマスガ、是等ニ要シマスル豫算等モ御願ヒ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其ノ他今後尙ホ財務局等ノ其ノ方面ニ携ハツテ

居ル者等ヲ集メマシテ、尙ホ調査ノ充實ヲ期スル方策ヲ考ヘタイト思ヒマスガ、只今ノ所ハ今申シタヤウナ次第デアリマス

コトハ惡イトハ言ハヌガ、先ヅ此ノ新興階級ニ向ツテ、大ナル「メス」ヲ下スト言フト誤弊ガアルガ、此ノ方面ニ向ツテ今度ハ力ヲ入レテ貫ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラモウツ資金調整法テ僅カナ會社ノ資本金ノ増加ト云フコトニ付テヤカカシク言フデアリマスガ、是ハ主稅局長ニ御分リニナルカドウカト思フデアリマスガ、軍需工場ニ對スル前渡金ナドナゼ資金調整法ニ掛ケヌノカ、或ハ戰時金融庫カラ出ス金、戰時金融庫ガ貸付ケル何百萬圓何千萬圓ト云フ金、若シクハ株式ヲ取得スル、株ヲ買フ、ソレカラ何百萬圓、何千萬圓ノ前渡金ヲスル、是等ハ資金ノ審査ニ掛ラヌ、斯ウ云フ大キナモノハ掛ケズニ置イテ、小サナ、十萬、二十萬、三十萬ノ拂込ヤ、増資ヤ、月給取ノ月給ガ、色々ナモノヲツツメテ居ル、是ハ大藏省ガ齒ガ立タヌカラ、齒ノ立ツ方ダケアルヤリニナツテ殘シテ居ルヤウナ感ガアルノデスガ、主稅局ノ主管デアリカガ御答ヘガ出來マセヌカ

デナイカモ知ラヌガ、若シ是ガ地租、家屋稅ト同様ニ配付稅ノ財源ニナツテ居ルトスルナラバ、ソレデハナゼ都府縣及ビ市町村ニ附加稅ヲ取ラスヤウニシタノデセウカ、若シサウデアアルナラバ附加稅ヲ取ラズ、一本建ニシナイノカ、府縣ハ御承知ノヤウニ本稅ト同額、市町村ハ本稅ノ倍額、合セテ四倍デアリマス、營業稅ノ稅額ヲ一圓課ケラレルナラバ四圓ト云フコトニナル、若シ是ガ悉ク配付稅ノ稅源デアルナラバ、此ノ營業稅ヘ持ツテ行ツテ二重ノ徵稅令書ヲ出サネバナラヌシ、納メル方デモ面倒ダカラ、是ハ都府縣附加稅、市町村附加稅ヲ止メテシマツテ、一ツニシテ取ツテ、ソレヲ配付シタ方ガ簡單デハナイデスカ、其ノ點ハドウデスカ

○森田(福)委員 能ク分リマシタガ、今冒頭ニ局長ノ仰シヤツタ店舖ヲ構ヘテ居ル者、ソレハ私ハ論ジテ居ラナイ、店舖ヲ構ヘテ居ル者ハ相當苛款誅求サレテ居ル、ソレハドウカ分リマセヌガ、可ナリヤラレテ居ルト思ヒマス、店舖ヲ構ヘテ居ラズニ生活物資ノ「ブローカー」或ハ昨日御尋ネ申上ゲタヤウニ工作機械ノ賣買、或ハ工場ノ賣買ヲヤツテ居ル者ナドハ、先ヅ大キナ儲ケヲヤツテ居ル、工場ノ賣買ハ大抵ノモノハ七十萬圓ノモノヲ百萬圓以上ニ賣ル、ソレカラ今度ハ下ツテ工作機械ノ賣買、是ハ看板モ何モ掛ケテ居ラズヤウナモノガ可ナリ限ニ付キ耳ニ入ツテ來ル、ソレカラ生活物資ヲ風呂敷ヲ持ツテ汽車デ買出シニ行ツテ、ソレヲ幾ラ高クトモ買ツテ來テ、幾ラデモ高ク買フ者ニ賣ル、是ハ御調べニナレバ直グ分ル、私ハ銀行ノ人ニ聞イタノデアリマスガ、銀行デハサウ云フコトヲヤル人間ハ直グ分ル、ドウシテ分ルカト問ウタ所ガ、誰某ノ預金ガ非常ニ殖エタ、是ハ事變ガ始マツテ以來聞ダノ「ブローカー」ヲシタハ明瞭ダト言フノデス、ソレハ銀行ガ言ツテ居ルノダカラ間違ヒナイ、或ハ從來小切手デ取引ヲヤツテ居タ者ガ一時ニ現金ヲ十萬、二十萬出ス、小切手デハドウデスカト云フト、是ハ少シ違ツタ方面ニ使フノダカラ現金デ呉レ、斯ウ云フノハ聞ノ仲介デアルト、斯様ニ銀行デ申シテ居リマスガ、斯ウ云フ方面ヲ御調ベニナツ

テ——在來ノ月給取、株主ト云フ者カラ取立テルコトニ全力ヲ御入レニナル

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

○田中(豐)政府委員 主稅局ノ直接ノ所管デアリマセヌガ、一應承知致シテ居ル所ヲ申上ゲマス、御話ノヤウニ前渡金ナドハ何等資金調整法ニハ掛リマセヌ、此ノ根本ガ宜イカ惡イカト云フ問題デナク、掛ラナイ理由ハ、資金調整法ハ御承知ノヤウニ設備ノ新設擴張ト云フヤウナ物のナモノヲ取得シテ行ク場合、又ソレガ其ノ資金ノ調達方法トシテ社債ヲ募集スルトカ、拂込ヲスルトカ、或ハ借入金ヲスル、斯ウ云フ際ニ資金調整法ノ許可ヲ受ケル、斯ウ云フヤウニナツテ居リマシテ、物的ナ設備ヲ取得シナイ——前渡金ハ御承知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

○田中(豐)政府委員 現在營業稅ハ地租、家屋稅ト同ジク還付稅ト云フコトニナツテ居リマス、兎ニ角國稅ニハ殘テ地方ニ還スコトニナツテ居リマス、サウナツテ居レバ國稅トシテ取り、且又地方ガ——都道府縣ガ附加稅、市町村ガ附加稅ヲ課ケルノハ無意味デハナイカト云フ御尋ネハ御尤モデゴザイマスガ、元來是等ノ稅ニ付キマシテハ、市町村或ハ府縣デ徵收シ、其處ノ收入ニナル譯デスカラ、其處デ徵收スルノガ本體デアツタラウト思フノデアリマスガ、昭和十五年ノ稅制改正ノ際ニ、例ヘバ營業稅ニ付テ申シマスレバ、國稅所得稅其ノ他ヲ調査スル爲ニ、必ず營業所得モ調査スル、國ノ調査ガアルノダカラ一應國稅トシテ殘シテ、ソレハ地方へ還付スルヤウニスル方ガ適當デハナイカ、又家屋稅、地租ニ付キマシテモ、調査ノ公平其ノ他ヲ期スル爲ニ、地籍ノ確保ト云フヤウナコトヲ期

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

知ノヤウニ、一應代金ノ前渡シト云ツ

スル爲ニ、國稅トシテ殘シテ置ク方ガ事務ノ正確サヲ期シ得ル、斯ウ云フヤウナ見地カラ一應、國稅トシテ殘シタ、然ラバ國稅全部取ツテシマツタラ宜イデハナイカト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、原則トシテハ御話ノヤウニ都道府縣ノ附加稅、市町村ノ附加稅ト云フモノハ一應決ツテ居リマスガ、ソレトノ地方財政ノ事情ニ依ツテ其ノ附加稅ヲ増減出來ルト云フ建前デアルカラ、國ガ全部取ツテ其ノ地方ニ還スト云フコトハ一寸實行上出來ナイヤウナコトニナツテ居リマス、隨テ一部國ガ取ツテ、ソレニ對スル附加稅ノ形式デ其ノ地方ノ財政需要ニ應ズル附加稅ヲ行フ、斯ウ云フ必要カラ現在ノヤウニナツテ居ルノデアリマス

○森田(福)委員

サウナツテ居ルカラ私ハ一ツ地方ヘ、斯ウ云フ手ノナイ時デアリ、又用紙モナイ時デスカラ一本ニナルヤウニ、營業稅ヲ國デ取ルナラ國デ全部取ル、今ノ四倍取レバ宜イ、一圓ノモノナラ四圓取レバ同ジコトニナルノデアラ、一ツニシテ取ツテ配付シテヤレバ結果同ジコトデアリマス、或ハ全部ヲ國ガ放シテシマツテ地方ニ取ラス、之ヲ一本建ニナルヤウニ、面倒臭クナイヤウニ機會ガアル時ニハ御考慮願ヒタイと思ヒマス

ソレカラ今度ノ改正ニ出テ居リマスガ、遊興飲食稅ノコトデアルガ、是ハ政府ノ方デモ知ツテ居ラレコトデアラウト思フガ、宿泊ナドヲシタ人間、或ハ飲食シタ者、遊興ト云フノハ餘リナイデセウガ、ソレデモ多少今デモ藝者デアツタ者ガ酌ニ來テ、御禮ヲ出シ居ルノガアルサウダガ、ソレハヤハリ課カラズニ、客カラハ高ク取ツテ居ル、是等ハ見逃シテ居ルガ、私ハ見逃

サス方ガ宜イト思フ、ヤハリ其ノ席へ行ツテ、尤モオ客トシテ御膳マデ掘エテ呼ブノドト云フ話ヲ聞イテ居ルガ、嘘カ本當カモ角モ其處ヘ行ツテ謝禮ヲ貰フナラバ、其ノ謝禮ニ對スル稅ハ取レヌコトハナイ、ソレカラ宿屋ノ如キモノデモ證紙ヲ貼ツテ受取ヲ出スコトニナツテ居ル、所ガソレハ斯ウ云フ風ニヤツテ居ル、我々ガ旅行シテ見タ體験ニ依ルト、貼ツテ出ヌ家モアルシ貼ツテ出ヌ家モアル、中ニハ忙シイカラト云フテ全然領收書ヲ出サヌノモアル、併シオ客ノ方カラ催促スレバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトモアルガ、ソレヲ餘リ喧シク言ツタラ今度行ツタ時ニ泊メヌデセウ、此頃ハ宿屋ノ方ガ權力ガ強クナツテ居ル、昔ハ宿屋カラ客ヲ呼ンダモノダガ、此頃デハオ客ノ方カラ泊メテ下サイト陳情シナケレバ中々泊メナイカラ、サウ喧シクオ客ノ方カラ言ツタラ問題ニナラヌデセウガ、サウ云ツタ状態デアル、又別着ナドヲ取ツタ時ニハ、必ズ證紙ヲ貼ツテ出ヌ家デモ、其ノ分ダケハ「メモ」ニ書イテ出スト云フ狀況デアルガ、此ノ方面ニ對スル調査ト云フカ監督ト云フカ、ソレガ手ノ足ラヌ關係デ全然抜カツテ居ル國民カラ取ツタモノガドノ程度政府ノ收入ニナルノカト云フコトガ危ブマレル、國民カラ取ルノハ「百パーセント」取ルコトハ確カデ、或ハソレ以上取ツテ居ル、ソレニ對シテハ具體的ニドウ云フ監督ヲシテ居ルカ、其ノ監督ノ方法ヲ承リタイ

○田中(豐)政府委員

先程營業稅、家屋稅ハ唯斯ウナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデハナクテ、ナラザルヲ得ナイ、一本ニスルコトノ困難ナ理由ヲ申上ゲタ積リデアリマスガ、モウ少シ

補足サセテ戴キマスレバ、府縣、市町村ニ依リマシテ附加稅ノ稅率ガ非常ニ違フノデス、原則ハ御話ノ通り決ツテ居リマスガ、財政事情ニ依ツテ附加稅ノ率ガ非常ニ違フノデアリマシテ、國デ一本デ取ツテ分ケルト云フ譯ニ參ラナイト云フ事情ガ今日モ非常ニ存シテ居ル、隨テ本稅、附加稅ノ制度ニナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス

次ニ遊興飲食稅ノ問題デアリマスガ、決戰非常措置以後所謂藝妓ナドガナクナリマシタガ、ドコカノ場合ニ於テ藝妓ガ「サービス」ヲスル、ソレニ謝禮ヲ出ス、斯ウ云フモノニ課稅シテハドウカト云フ御話デアリマスガ、サウ云フモノモアリ「得ルト承ツテ」居リマス、併シ今日ハモウ藝妓デナク、何かノ謝禮ヲ出シテハ居リマシテモ、之ニ現在ノ遊興飲食稅ヲ課稅スルト云フコトハ適當デナイヤウニ考ヘテ居リマス、唯サウ云フ風ナコトハ勿論相當豫期スベキ問題デアルト思ヒマスガ、ソレハ警察ノ取締ナリ其ノ他ノ方法ニ依ツテ居ル次第デアリマス、又宿屋其ノ他ノ方面ニ於ケル脫稅、遊興飲食稅ヲ客カラ取ツタガ、果シテ納メルカドウカト云フ問題ニ付キマシテハ、稅ノ性質上斯ウ云フ稅ニ付テハ脫稅ガ相當行ハレテ居ルヤウデアリマス、其ノ爲ニ先年來色々脱稅防止、納稅確保ノ手段ヲ講ジテ居リマス、御承知ノヤウニ昨年モ罰則ヲ非常ニ強化スル、場合ニ依ツテハ惡質ノモノニハ體刑ヲモ科シ得ルト云フヤウナ罰則ヲ強化致シマス

トカ、或ハ又昨年納稅證紙ノ制度ヲ探ツテ、或ハ場合ニ依ツテハ納稅切符ト云フ制度ヲ採ツテ、客ニサウ云フモノヲ交付スルコトニ依ツテ、客ノ方ノ監

視ニ依ツテ、脫稅ノ防止ヲスルト云フヤウナ方法ヲ採ラレテ居ルノデアリマスガ、御話ノ如ク場合ニ依ツテハ客ノ方ガ弱イ立場ニアツテ、ソシナモノノ請求モ出來ナイノデ脫稅ガアルト云フコトモアリ得ルト思フノデアリマス、一方是等ヲ取締ルコトニ付キマシテモ、手不足其ノ他ノ爲ニ行届カナイ點モアルトハ思ヒマスガ、今日トシテハサウ云フ方法ヲ講ジマシテ、或ハ更ニ取締ヲ強メ、又業者ノ團體等ヲ通ジテ、サウ云フコトノナイヤウニト云フコトヲ出來ルダケ努メテ行ク、斯ウ云フ方針デアリマス

○森田(福)委員

サツキノ營業稅ノ附加稅ノ問題ニ付テ、地方ニ依ツテ異ツテ居ルト云フコトダガ、制限一杯取ツテ居ルコトハ異ツテ居リマセヌ、本稅一圓ニ對スル都道府縣附加稅一圓、市町村附加稅二圓取ツテ居ル、是レ以上制限外ヲ取ラウド思ヘバ、所管大臣ノ認可ヲ許可ガ要ルデアリマセウ、配付稅ガサウナツテ居ルノデスカラ一本ニ出來マス、配付稅ニ手加減ヲスル必要ガアルナラバ出來ルノデアルカラ、一本ニ出來ヌト云フコトハナイ、出來ルヤウニサレタラ宜イノデアリマス、ソレカラ今ノ宿泊料ナドニ對スル脫稅ト仰シヤツタガ、是ハ脫稅ハアリマセヌ、取ル方カラハヨリ以上スツカリ稅ヲ取ツテ居ルカラ脫稅ハナイ、市町村役場ノ收入役ガ公金ヲ橫領スルヤウニ、宿泊人カラ取り立テタモノヲ橫領スル類ガ多イ、之ヲドウヤルノカト云フ御質問ヲシタノデスガ、御答ヘノ點ハ手不足其ノ他ノ關係デ、罰則ヲ嚴重ニシタト見タ所デ、國民カラ取立テタモノヲ全部納メルヤウナコトハ難カ

○田中(豐)政府委員

ソレモヤハリ脫稅ト我々ハ申シテ居ルノデ、私御質問ヲ取違ヘテ御答ヘヲ申上ゲタ譯デアリマス、客カラ稅金ヲ徵收シテ置キナガラ政府ニ納メナイト云フ問題ニ付テ御説明申上ゲタノデアリマス、色々手ヲ盡シテ居リマスガ、ソコニサウ云フ脫稅ガアルト云フコトモ爭ハレナイ事實デアリマシテ、ソレニ對シテ仰シヤルヤウニ外形稅ニシテ、或ハ飲食店或ハ旅館ト云ツタヤウナモノニ外形標準デ一定ノ稅ヲ課シタラドウカト云フ御話デゴザイマスガ、ソレデハ連モ現在ノ數億ニ上ルヤウナ遊興飲食稅ハ私ハ取レナイと思ヒマス、一應御話ノヤウニ客カラソレダケヲ取ツテ納メルト云フコトデ、轉嫁ハ行ハレマスガ、ドウシテモ外形標準デ其ノ人ニ稅ヲ課スト云フコトニナリマス、直接稅ノ形ニ理窟ハナルト思フノデアリマシテ、サウ云フ稅トシテハ既ニ營業

稅——是ハ外形標準ニハ依ツテ居リマセヌガ、サウ云フタヤウナモノモアリ、其ノ上ニ只今言ツタヤウナ外形標準デ、實際ノ客ノ遊興、飲食、宿泊等ガアルナシニ拘ラズ、一定ニ取ツテ行クト云フヤウナ取方ヲ致シマス、今日ノヤウナ稅額ハ到底期待シ得ナイヤウニ考ヘマス、又遊興ヤ飲食ノ金額ノ差異ニ依ツテ或ハ免稅シ、或ハ稅率ニ差等ヲ付ケル、宿泊ノ場合モ同様デアリマスガ、サウ云フタヤウナ作用ガウマク行ハレナイ、是ハ結局飲食業者ナリ旅館ノ人ニ客カラドレ位取ルカト云フコトヲ總テ委シタコトニナリマシテ、負擔ノ公平モ期シ得ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○森田(福)委員 其ノ點ヲ押シ合ツテモ仕方ナイイカラ押シ合ヒマセヌガ、客カラ取ツタダケノモノヲ取ルコトガ出來レバソレデ宜イ、客カラ取ツタダケノモノヲ政府ガ全部取ツテシマヘバ彼此レ議論ハナイ、客カラ取ツテ片方ニ細メナイデ、市町村收入役ガ公金ヲ橫領シタ形ニ現在ナツテ居ルカラ、ソレガイカサ、ソレデカラ外形稅ニ依ツタラ宜イデヤナイカ、アナタハサウ云フコトヲシタナラバ稅額ガ上ラヌト仰シヤルガ、ソレハ上リマス、チツトモ心配ハナイ、今マデノ實績ニ依ツテ取レバ宜イノデアルカラ、是ハ一種ノ賣上稅デス、何モ差支ヘアリマセヌ、出來ヌト云フノハ、今ノガ一番宜イト思ツテ居ルカラ出來ヌトデ、外形行ケバ出來ル、出來ヌコトハアリマセヌ、ソレカラ次ハ此ノ前ニモ話シタコトガアルノデアリマスガ、小サナ家主ガ困ツテ居ル、其ノ中デモ昭和十二年以前ニ建テタモノハ家賃ガ上ゲラレヌトデ家主ガ困ツテ居ル、其ノ上ニ分類所得

稅ハ無論ノコト、今日ハ御承知ノ通りニ修繕其ノ他ノ費用ガ上ツテ居ル、昭和十二年以後ニ建テタモノニ對シテハ非常ニ樂ニ出來テ居ツテ、家賃ハ隨分高ク取リ得ル、昭和十二年以前ノモノハ取ラレナイ、取ラレナイニ上ニ分類所得稅ガ上ツテ行クカラ、實質上ハ家賃ノ減額デス、僅カノ退職手當ヲ貰ツテ家ヲ一軒建テタトカ、恩給デ家ヲ一軒位建テ、ソレヲ以テ食ツテ居ル者ハ全ク生活ノ途ヲ失フヤウナ方向ヲ辿ツテ居ルノデアリマスガ、私ハ此ノ免稅點ノ五圓ヤ十圓ノ問題ヲ言フノデハナイ、之ニ對シテハ政府ハ家賃ヲ上ゲルコトヲ認メテヤルカ、認メヌノナラバ、昭和十二年以前ノ家賃ニ對シテ臨時利得稅ヲ取ルト云フコトハ間違ヒデアル、要スルニ昭和十二年以前ニ制定ノ家賃デアツテ、家賃ハソレ以上上ゲラレナイガ、其ノ當時制定シテ居ナカッタ分類所得稅ヲ課スルト云フコトニナツテ行クト、ソレガ段々上ツテ行クニ從ツテ、全ク保險料モ出ナケレバ、地租モ出ナケレバ、修繕費モ出テ來ズ、僅カニ、今度ニ割三分ニナルノデスガ、サウスルト七七%、百圓ノモノヲ七十七圓一應手ニ入ルガ、ソレハ地租モ要ルシ家屋稅モ要ルダラウト云フコトニナツテ來ルト全ク窮地ニ陥ルダラウト考ヘマスガ、是ナドノ救済ハ考ヘテ居ラレマセヌカ

○田中(豐)政府委員 サウ云ツタモノニ對シテ家賃ノ値上ヲ認メル認メナイト云フヤウナ問題ハ所管外デゴザイマスガ、唯不動産所得ニ付キマシテハ、今同ハ他ノ分類所得バ皆二%上ゲテ居リマスガ、不動産所得ニ付キマシテハ二%引上デアリマス、隨テ引上後稅率ハ二二%ト云フコトニ相成リマ

ス、之ヲ他ノ所得ト違ツテ二%ニ止メタ點ハ主トシテ不動産所得ガ從來カラ一%ダケ他ノ資產所得ヨリモ高イ稅率ニナツテ居リマシタガ、ソレガ餘リ理由ガナイト云フヤウナコト、又不動産所得者ノ現狀等ニ鑑ミテ二%ノ引上ニ止メタヤウナ次第デアリマス、其ノ結果御話ノヤウニ非常ニ困ルコトニナルカドウカト云フコトニナル譯デアリマスガ、今度ハ僅カニ二%ノ引上デアリマシテ、其ノ御話ノヤウナ傾向ニ參ルコトハソレハ勿論否マレナイノデアリマスガ、ソレ程ノ負擔增加デモナイ、斯樣ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○森田(福)委員 ソレハ研究ガ足リマセヌ、私ノ話シテ居ルノハ、二%上ゲテモ堪ヘ得ル限界ガアル、ソレハ何處ガ堪ヘ得ルカト云フト、昭和十二年以後ニ建設シタモノニ付テハ家主ハ家賃ガ高イカラ二%上ツテモ堪ヘ得ル、所ガ昭和十二年以前ノモノモ同ジヤウニ上ルト云フコトハ、前カラ釘付ノモノモ二%ナシダカラソコニ何等カ對策ガナケレバイカサト云フコトナソデス、主稅局長ノ答辯ハ、昭和十二年以前ニ建設シタ安イ家賃モ、十二年以後同ジヤウナ率ノ稅ヲ課シテ行クト云フコトハ、ソコニ非常ナ無理ガ出來テ來ルノデアリマス、ソレハ十分ニ今後機會ガアラウト思ヒマセヌカ、サウ云フ時ニハ研究ヲナサツテ戴キタイ、小サナ家主デソレデ食ツテ生活シテ行キ居ルヤウナ者ガアルノダカラ十分考ヘテ行カナケレバナラヌ、銀行トカ會社トカ役所ヲ退職シテ、退職手當ヲ貰ツテ一軒家ヲ買ウテ、ソレニ依ツテ子供ノ教育費ヲ生ムトカ色々ナ問題ガアルノデアリマス、サウ云フ方面ニ斯ウ云フ

無理ナ課稅ヲシテ壓迫ヲ加ヘテ行クコトハ私ハ當ヲ得タモノデハナイト思フ、僅カナ金デアラウト思フカラ是ハ何カ考慮セラレタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フノデアリマスカラ、左様ニ御諒承願ヒタイ、機會サヘアレバ斯ウ云フ方面ニ頭ヲ置イテ調査ヲシテ變更シテ行クベキデス

ソレカラ次ノ質問ハ、今度勅令要綱ニ依ツテ見ルト、五百萬圓以上ノ法人ニ對シテハ申告課稅ヲ一應シテ居ルト云フ問題デアリマス、此ノ點ヲ御尋ネスルノデアリマスガ、申告課稅ノ所得ノ中告ハ出來ルガ、計算ハ自己計算ニ依ルト云フコト、アノ面倒ナ計算ヲ悉ク納稅者ガ計算スルノデスカ、ソレトモ所得ガ是ダケアツタト云フコトヲ稅務署ニ届出レバ、稅務署ノ方デ分類所得稅トカ公債ノ利子トカ、引クベキモノハ引キ、加フベキモノハ加ヘシテ、アノ面倒ナ計算ヲシテ是ダケ納メロト云フノデアリマスガ、ソレトモ概算ヲヤツテ納メテ置クノデアリマスガ、其ノ點ハドウヤリマスカ

○田中(豐)政府委員 先程ノ不動産所得ノ問題デアリマスガ、一寸稅率ヲ申上ゲルノガ間違ツテ居リマシタノデ訂正シテ置キマス、不動産所得ニ付キマシテハ二%引上タノデゴザイマスガ、從來カラ六百圓以下ノ不動産所得ニ付キマシテハ稅率ハ少シ安クナツテ居リマシテ、一九%デアリマシタノヲ引上ゲテ二%ニシ、六百圓以上ノ所得者ニ付キマシテハ從來二二%デアリマシタモノヲ二引上ゲテ二二%ニ致シタヤウナ次第デアリマス、尙ホ昭和十二年以前ニ建テタモノト以後ニ建テタモノトノ負擔力ガ非常ニ違フ、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、十二年以前ニ建テタモノニ付キマシテハ、色々ト是ハマ

ア理窟ヲ申セバ——其ノ例外ハアリマセウ、實際問題トシテハ色々違ツテ居ルモノ、アルコトモ承知致シマスガ、理窟ヲ申セバ、十二年以前ノ安イ時ニ比較的安ク建テテ、償却費モ安イ、ソコデサウ云ツタヤウナモノハ停止ヲ食ツテモ一應ソレデ收支ガ償ツテ行ク、十二年以後ニ高ク建テタモノハソレガ中々償ハレヌ、隨テ家賃ガ高クナツテ居ルト云フコトハ、マアソレデ大體合理的デハナイイカト思フノデス、更ニ稅ノ面カラ申シマスレバ、修繕費ガ上ツタ、保險料ガ上ツタト云フヤウナコトデ支出ガ多クナリマシタ分ハソレダケ差引イテ所得ハソレダケ減ツテ參ル譯デアリマスガ、ソレニ對シテ比例稅率デアリマスガ、ソレニ對シテ比例稅率デアリマスガ、必ズシモ御話ノヤウニハナラナイノデヤナイイカト私ハ考ヘマ

ソレカラ法人ノ申告納稅制度ノ問題デアリマスガ、御話ノヤウニ申告ト同時ニ法人カラ一應納稅シテ戴クト云フコトニナツテ居リマスノデ、稅ノ計算モ法人自身ニ於テ計算シテ戴イテ稅ヲ納メテ戴クコトニナツテ居リマス、隨テ御話ノヤウニ今日ノ非常ニ複雑ナ稅ノ計算ト云フモノヲ會社ガヤラナケレバナラヌ、是ガ非常ニ面倒臭クテ手數ヲ掛ケ且ツ出來ナイデヤナイイカト云フヤウナ問題ダト思フノデアリマスガ、左様ナ懸念カラ、差當ツテ此ノ制度ハ資本金五百萬圓以上ノ大キナ法人ダケニ適用シテ行ク、其ノ他統制會社デアルトカ、資本金五百萬圓以下デアリマシテモ、大藏大臣ノ指定シタヤウナ、經理上サウ云フ計算ガ出來ルト云フヤウナ會社ニ對シマシテハ、特ニ五百萬

團以下デモ此ノ申告納税制度ヲ適用スルモノヲ作リマスガ、大體ニ於テ、計算ノ困難サ、ソレガ出來ルカ出來ヌカト云フヤウナ點ヲ勘案致シマシテ、五百萬圓以上ノ法人ニ適用スルコトニ致シタイト存ズルノデアリマス、實際ニ於キマシテ今日五百萬圓以上ノ法人ノ申告ノ状態、ソレニ對シテ稅務署ガ後カラ調査シテ課稅決定シテ行ク状態等カラ見マスレバ、是等ノ大會社ニ取リマシテハ是等ノ計算ガ出來、且ツ現在ヤツテ居ル手數トソレ程違ハナイト云フヤウニ認メラレルノデ、五百萬圓以上ノ法人ニ實施スルコトニ致シタ譯デアリマス

○森田(福)委員 ドウモ今ノ御答辯ハ的ガ外レテ居ルヤウニ思フ、私ノ間ヒヤウガ惡カッタノカモ知レマセヌガ、利益ノ算出ガ面倒ナノデハナイ、當期利潤ト云フモノヲ出スノハヤルガ、ソコカラ先、公債ノ利子ヲ其ノ中カラ引イタモノニ、今度ハ稅ヲ算出シテ、ソレカラ分類所得稅ヲ引クトカ、中々難カシイ技術ガアツテ、アノ様式ヲ見テモ面倒ナ分ヲ所ガアル、サウ云フ面倒ナ所ガアルカラ、一應五百萬圓以上ノ會社デアツテモ、是ダケノ所得ガ上ツタト云フ所カラ先、引イタリ加ヘタリスル計算ハ稅務署デヤルカドウカト云フノデス、私ハ稅務署デヤツタ方ガ宜イト思フノデス、ヤツテ徵稅令書ヲ出シサハスレバ問題ハナイ、徵稅令書ト云フモノヲ出シテ行ケバ宜イノデヤナイカ、徵稅令書ト云フモノヲ出ス前ニ、當期純益金カラ稅ノ計算、豫メ本稅三十三トカ臨時利得稅ヲ三十五トカ云フヤウナ計算ハ法人ガヤリマス、ソレ以外ノ面倒ナ計算ガ殘ツテ居ルカラ、ソレヲ一錢一厘違ハナイヤウニス

ルノニハドウシテモ稅務署ノ人ガヤル方ガ宜イノデアリマセヌカ、ソレデ徵稅令書ヲ出シタ方ガ宜イデアリマセヌカ、サウ云フ質問デアリマス
ソレカラ前ノ家賃ノ問題、是ハ後カラ仰シヤツタカラモウ一應申上ゲマセウ、是ハ斯ウデス、十二年以前ノモノハ安イカラ家賃ヲ上ゲヌデモ宜シイ、十二年以後ノモノノ家賃ガ高イノハ建築費ガ高イカラデアルト云フ御話、其ノ通りデス、其ノ點ハ私ハ否定シマセヌ、其ノ通りデアアルガ、私ガ申シタノハサウデナイ、十二年以後ニ制定シタモノニハドウ云フモノガアルカ、早イ話ガ才賤元デ一番分リマスヤウニ、東拓ノヤウニ前カラ貸事務所ヲヤツテ居ツタモノハ、坪當リノ室料ト云フモノガ七圓トカ八圓トカ決ツテ居ル、所ガ最近百貨店ナドガ廢メテ貸ス所ノ坪當リノ室料ト云フモノハ倍ニモ三倍ニモナツテ居ル、詰リ昭和十二年以後ニ貸室賃ノ制定シタモノハ相當高イ賃ヲ取ツテ居ル、サウデナイモノハ昔カラノ賃ヲ取ツテ居ルカラ、玆ニ非常ナ差ガアル、新シク建築シタモノダケガ家賃ガ高イノデアアルナラバ、主稅局長ノ仰シヤルヤウニ議論ノ餘地ハナイ、建築ハ十二年以前ニシタモノデアアルガ、貸室ニシテ居ナカッタ、ソレガ昭和十二年以後ニ新タニ貸スヤウニナツタ賃ト云フモノト、前カラ貸室ヲシテ居ツタモノトノ間ニ非常ニ差ガアルノデ、ソコノト行カケレバナラヌデヤナイカ、餘額ヘテ行カケレバナラヌデヤナイカト云フコトヲ問ウタノデアリマス、餘額ヲ執拗ク水掛論ヲシテモ仕方ガナイガ、アナタガ如何ニ合理的ナヤウニ御答ヘニナルカラ、私ハ次カラ次ニ申上ゲナケレバナラヌデアリマスガ、資本

金五百萬圓以上ノモノニ對シテハ、會社ガヤハリ計算ヲシテ申告ラシ、申告ラシタモノニ對スル徵稅令書ヲ稅務署カラ出サレタ方ガ宜イト思フ、サウスレバ計算ニ間違ヒガナイト云フ趣旨デアリマス
○田中(豐)政府委員 所得ノ計算ハ出來ルガ稅ノ計算ガ困難ダ、其ノ計算ガ出來ルカ出來ヌカ、今日ノ會社ノ實情ト云フコトニ付テ、私モ五百萬圓以上ノ法人ナラバソレガ大體出來ルヤウナ實情ニアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、併シナガラ是ガ一錢一厘間違ツテハ——御承知ノヤウニ場合ニ依ツテ過意金ノ意味デ、不足額ガアリマシタラ、日歩ヲ加算シテ取ルト云フヤウナコトガアリマスノデ、一錢一厘間違ツテモサウ云フコトヲスルムカト云フ問題モ件ノデアリマスガ、大體只今考ヘテ居リマス所デハ、會社ガ株主總會ノ承認ヲ經タル利益ニ對シテ、ソレニ對シテ納メルベキ稅金ヲ納メテ居レバ宜シイ、御承知ノヤウニ色々ナ事項ニ付テ、稅務署ハ時ニ會社ガ經費トシテ支出シタモノヲ認メナイト云ツタヤウナ、意見ヲ異ニスルコトガ多々アル譯デアリマス、一應會社ガ是ガ正シイト思ツテ損益ノ計算ヲシ、ソレニ對シテ稅金ヲ納メテ居ツデモ、稅務署ノ調査ノ結果ハソレデ非常ニ不足スルト云フヤウナ場合モ豫想セラレルノデアリマス、ソレニ對シテ過意金ヲ取ルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、一應會社ガ株主總會ノ承認ヲ經タル損益計算ニ基イテ、之ニ對スル租稅ヲ納メレバ宜イト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、唯ソコニ例ヘバ、稅法上、所得稅、法人稅ハ損金トハ致シマセヌガ、會社ハ損金ト致シテ居ル、或

ハ當期ノ計算ニハ前期繰越金ヲ一應益金ニ入レテ居ルガ、稅務署ノ方ハ入レテ居ナイト云フヤウナ、顯著ナ、會社モ大抵ツテ居ルヤウナ多少ノ修正ハ致シテ貰ヒマス、其ノ他、總テ會社ノ計算通りノニ對シテ稅率ヲ掛ケタモノ、之ヲ一應納付シテ貰フ、斯ウ云フ制度ニ致シタイト思フノデアリマス、會社ガ申告シタ所得額ニ基イテ稅務署ガ決定シテ令書ヲ出セバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトニナリマス、是ハモウソレデ一應決定シテ令書ヲ出シテ、役所ノ方モモウ是デ宜イト云フコトニナル、サウスルト、法人ノ申告ハ後デ稅務署ガ調査シテモ近イコトニハ現在ナツテ居リマスケレドモ、尙ホ調査スレバ相當會社ノ計算デハ、稅ガ足りナイト云フ場合モ多イノデアリマシテ、一應申告ノ際ニ納稅シタモノニ對シテハ後デ稅務署ガ調査決定ヲ改メテ致シマシテ、追徵還付ト云フ制度ハドウシテモ殘シテ置カケレバナラナイト思ヒマス

○森田(福)委員 ソレナラバ全ク二重手間デス、稅務署ガ怠慢ト言ハズトモ、人手不足ノ爲ニ調査ハ十分ニヤラヌデ、金ダケハ取ツテ置イテ、後デ又稅務署カラヤツテ來テ帳面ヲホジクツテ、是デ宜イトカ惡イトカ——從來ノ例デ言フナラバ、是ハ經費ニ見ルベキモノデナイトカ、是ハ會社ノ負擔ニナルベキモノデナイトカ、色々文句ヲ付ケテ支出否認ヲシテ、又改メテ令書ヲ出シテ徵稅シテ行クト云フノナラバ、是ハ二重手間デス、ソレナラバナニモ稅法ノ簡易化デモ何デモナイ、申告ヲ信用シテ其ノ繰越金ヲシマフナラバソレデ宜シイガ、サウデナイ、今アナタノ仰シヤルヤウニ、後日調べテ、違ヒ

ハ當期ノ計算ニハ前期繰越金ヲ一應益金ニ入レテ居ルガ、稅務署ノ方ハ入レテ居ナイト云フヤウナ、顯著ナ、會社モ大抵ツテ居ルヤウナ多少ノ修正ハ致シテ貰ヒマス、其ノ他、總テ會社ノ計算通りノニ對シテ稅率ヲ掛ケタモノ、之ヲ一應納付シテ貰フ、斯ウ云フ制度ニ致シタイト思フノデアリマス、會社ガ申告シタ所得額ニ基イテ稅務署ガ決定シテ令書ヲ出セバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトニナリマス、是ハモウソレデ一應決定シテ令書ヲ出シテ、役所ノ方モモウ是デ宜イト云フコトニナル、サウスルト、法人ノ申告ハ後デ稅務署ガ調査シテモ近イコトニハ現在ナツテ居リマスケレドモ、尙ホ調査スレバ相當會社ノ計算デハ、稅ガ足りナイト云フ場合モ多イノデアリマシテ、一應申告ノ際ニ納稅シタモノニ對シテハ後デ稅務署ガ調査決定ヲ改メテ致シマシテ、追徵還付ト云フ制度ハドウシテモ殘シテ置カケレバナラナイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 仰シヤル通り是ハ二重手間ナンデス、唯二重手間ト申シマスガ、今日稅務署ガ決定ガ遅レル、其ノ爲ニ國庫ノ收入モ迅速ノ期シ得ナイシ、又會社ノ側ニ於キマシテモ甚ダシキハ數期間決定ガ溜ツテ居ツテ、稅金ノ不確定ノ爲ニ經理上色々都合ナラズルト云フヤウナ點モアリマスノデ、一應申告額ダケ納メテ置イテ貰ツテ、後デ稅務署ガ調査決定シヨウ、斯ウ云フ制度ナノデアリマシテ、ソコニ一應申告ノ稅金ヲ納メルト云フコトガ今マデヨリモ餘計手數ガ掛ルト云フ形ニ相成ルノデアリマスガ、實際問題ト致シマシテハ、現在大法人ナドノ相當部分ニ付キマシテハ、申告通り決定シテ宜イモノガ多々アル譯ナノデアリマス、隨テ稅務署トシテハ從來

ガアツタナラバ、戻スベキモノハ戻ス、取ルベキモノハ取ル、ソレナラバ同ジ手數ガ掛ル、ソレナラバ從前通り稅務署ガ迅速ニ調べヤツテ行キサハスレバ宜イデハナイカ、國民モ忙シイノデス、骨折ツテ、人ニ聽イタリシテ計算ヲシテ納メタモノヲ、又後カラ稅務署カラ來テ調べ返シテ、不足ガアル、餘ツタ——餘ツタト云フコトハ大抵ナイデセウ、餘ツタカラ返スト云フコトハ言ヒハセヌカラ、足ラヌト云フ言フニ決ツテ居ルコトハ分ツテ居ルガ、ソレデハ手數ヲ掛ケルダケデハナイカ、ソレナラバ從來通り稅務署ガ迅速ニ調査決定シテ行キサハスレバ事ガ濟ムノデアリナイカ、徒ラニ會社ヲシテ二重ノ手間ヲ掛ケサセ、氣苦勞ヲサセ、手間暇ヲ掛ケル必要ハナイ、自分ノ方ニ人手ガナイ爲ニ事務ガ滯滞スルカラ、取敢ズ金ヲ取ツテ置カウト云フ便法手段デヤナイノデスカ

○田中(豐)政府委員 仰シヤル通り是ハ二重手間ナンデス、唯二重手間ト申シマスガ、今日稅務署ガ決定ガ遅レル、其ノ爲ニ國庫ノ收入モ迅速ノ期シ得ナイシ、又會社ノ側ニ於キマシテモ甚ダシキハ數期間決定ガ溜ツテ居ツテ、稅金ノ不確定ノ爲ニ經理上色々都合ナラズルト云フヤウナ點モアリマスノデ、一應申告額ダケ納メテ置イテ貰ツテ、後デ稅務署ガ調査決定シヨウ、斯ウ云フ制度ナノデアリマシテ、ソコニ一應申告ノ稅金ヲ納メルト云フコトガ今マデヨリモ餘計手數ガ掛ルト云フ形ニ相成ルノデアリマスガ、實際問題ト致シマシテハ、現在大法人ナドノ相當部分ニ付キマシテハ、申告通り決定シテ宜イモノガ多々アル譯ナノデアリマス、隨テ稅務署トシテハ從來

通りノ手数が、一應申告納税シタ後ニ、法人ニ付テ總テ要スルコト云フコトデハナイノデアリマシテ、其ノ點ニ相當手數ヲ省略シ得ルコト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラモウ一ツ、一應會社ガ納付致シマス際ニ非常ニ手數ガ掛ルカドウカト申シマス、大體ニ於テ今日ノ五百萬圓以上ノ會社ノ經理ノ實情カラ見レバサシタル手數デナイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○森田(福)委員 ソレデハ今度ハ先般ノ納稅準備預金ナント云フ預金ノ利子ヲ政府ガ取ルヤウニナツテシマフ、今度ハ六十日以内ニ豫約スルナラバ、アレハモウ無用ノコトニナツテシマフ、本當ハアノ儘デモ宜イ、今度ノ制度ト云フモノハ、今主稅局長ガ認メラレタ通り全ク二重手間デス、サウ云フコトヲヤツテ此ノ忙シイ時ニ手間暇ヲ掛ケルベキモノデナイ、アノ計算ト云フモノハ、單ニ營業稅ヲ課ケル、法人稅ヲ課ケル、資本利子稅ヲ課ケルト云フナラバ單純デアアルガ、屢言フヤウニソレカラ先方面倒デアアル、皆公債ヲ持ツテ居ル、公債利子ハ此ノ所得ノ中カラ引クトカ、又合セテ稅ニ算出スルトカ、或ハ銀行預金ナドニ對スル分額所得稅ヲ納メタモノヲ一應戻入レテ算出シテ、ソレカラソレニ相當スル額ヲ引クトカ、而モ近頃ノヤウニ一年々々變ツテ行クノデスカラ面倒デス、其ノ面倒ナ所ニ又二重手間ヲ煩ハズヤウナコトニナルコトハ好マシカラヌコトダト思ツテ居リマス、勅令デ此ノ問題ヲ決メテ行カウト云フナラバ、尙ホ格段ノ御心配ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ午前中ニ大藏大臣ヨリ答辯

ノアツタ點ノ問題デ事務ノ問題デアラガ、大藏大臣ハ私ガ言ウタ銀行預金ナドニハ分類所得稅ト云フヤウナ所得稅ヲ取ラヌデ宜イデヤナイカ、ソレデケ利子ヲ安クシテ、銀行カラ一括シテ政府ニ納メタラ宜カラウ言ツタノニ對シテ、ソレデハ利子ヲ屢、變ヘナケレバナラヌヤウナ面倒ガ起ツテ來ル、即チ稅制ノ改正ノ度ニヤラナケレバナラヌカラ手數ガ掛ルト云フ意味ノ御答辯ガアツタノデアリマス、稅制ガ假リニ一年ニ一回ツ、變ルトシマシテ、銀行ノ利子モ一年一回ツ、變ツテモ何等差支ヘナイデハナイカ、是ハ例ノ興業銀行ノ債券ノヤウニヤツタラ一番簡單デアナイカ、アレハ稅拔キデ一箇年間ノ期限デヤツテ居ル、其ノ代リ利子ハ其ノ都度變ツテ居リマス、大體毎年何厘何毛ト云フ差異ガ付イテ來テ居ル、併シアレハ稅引キデヤツテ來テ居ルカラ簡單デス、ア、云フ制度デ行キサヘスレバ、銀行ガ一々分類所得稅ヲ取ル手數ヲ掛ケヌデモ極ク簡單ニ行ケルノデアアルカラ、是ハ事務當局ガ大藏大臣ナリ首腦部ヘ持ツテ行ツテ話ス時ニ出來ナイコトデハナイ、ソレナラバ極ク簡單ニ出來ルト思フガドウ御考ヘニナツテ居リマス

○田中(豐)政府委員 銀行ノ預金利子等ニ對スル分額所得稅ニ付テ、銀行カラ一遍ニ納メサシタラドウカト云フ御話デアリマスガ、實際手數ノ問題トシテハ現在一人々々利子ヲ算出シテ、ソレニ對スル分額所得稅ヲ計算シテ、其ノ集計ヲ政府ニ納メルト云フ手數ハ致シテ居リマセヌ、全體ヲ一括シテ、ソレノ利子ハ銀行ガ計算シナケレバナリマセヌケレドモ、ソレニ對スル稅率ヲ掛ケテ全體ヲ政府ニ納メ、後ハ稅引キ

ノ利子トシテ利子ヲ記入スル、初メカラ稅引キノ利子ヲ記入シ、稅金ヲ算出シテ一括シテ納メルト云フ便利ナ方法ヲ今日行ツテ居リマス、隨テ御話ノヤウナ場合ト手數ノ問題ハ、大差ナイト思ヒマス、更ニ御話ノヤウニ致シマシタ場合ニハ、例示サレマシタ興業銀行ノ債券、是ハ割引債券ノコトダト思ヒマセヌガ、之ニハ稅ハ課ツテ居リマセヌガ、稅ノコトモ考慮シテ條件ヲ時々變更シテ居ルト考ヘテ居リマスガ、ソレデナク其ノ他ノ長期ノ社債等ニ付キマシテハ利子ヲ變更スル譯ニ參ラナイ、又利子ヲ變更スルコト云フ形ヲ執リマスナラバ、一般ノ金利水準、株式ノ利廻リハ凡ソドノ位デアアルカ、銀行ノ各種預金ノ利子ハドノ位、又郵便貯金ノ利子ハソレニ應ジテ斯ウダ、斯ウ云ツタヤウナ金利水準トノ關係ガ餘程感ジガ違ツテ來ルト云フコトニナリマシテ、ドウカト思フ點ガ多アルヤウニ思ヒマス、急ナ御話デ研究ハ致シテ居リマセヌケレドモ、中々難カシイノデハナイカ、技術的ニハ只今ノ預金利子ニ對スル課稅ハ御話ニ近イヤウナ簡便ナ方法ニナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲマス

ウ云フ場合ニハ取ルコトヲ少クセヨト云フノデハナイ、兎ニ角取ルコトハ宜イガ、手數ノ掛ラヌヤウニシタラドウカ、ソレハ小額預金ト大キナ預金ニ依ツテ既ニ元本五千圓以上ト以下デハ違フト云フカモ知レヌガ、ソレハ割引債券デハ五千圓デアラウト十萬圓デアラウト、政府ノ收入ガ多クナレバ宜イラダカラ同額ニナツテ居ル、モウ一ツ銀行ノ預金利子ハ安クテモ、此ノ際貯蓄獎勵ノ上カラ銀行預金利子カラハ稅ヲ取ラヌ方ガ宜イノデハナイカ、ソレデバ安クシテ銀行カラ別途納付ヲサセレバ宜イ、サウスレバ收入ニ狂ヒラ生ジナイ、サウ云フ貯金ノシ易イ方法ニシタラ宜イデハナイカト云フ意味ノ質問デアリマス、事務當局ハソコヨ一ツ能ク御考ヘ願ヒタイ

○森田(福)委員 今ノ問題ハ一括シテ報告サレテ居ルカラ簡單ダト云フガ、サウデヤナイ、アナタハ能ク知ラヌノデス、簡單ナノハ、百圓以下ノ利子ヲ一箇年ニ拂フ人ハ一括シテ宜イガ、百圓以上ヲ拂フ人々ハ綜合所得稅ノ關係カラ一々住所氏名ヲ書キマシテ皆出シテ居リマス、簡單デアアリマセヌ、實情ヲ知ラヌカラ簡單デアルト仰シヤルガ簡單デアナイ、ソシナコトヲセズ、興業割引債券式ニヤツタラ宜イデヤナイカ、宜イカ惡イカ知ラヌガ、私ハ斯

終ニモウ一ツ御尋ネシタイコトハ、今分類所得稅ヲ納メルニ付テ、其ノ稅ヲ定メテ行クノ手數料ヲ一年一人ニ付キ十錢交付サレルガ、アンナモノハイツソ撤廢シテ、只ニシテ義務デアヤラシタラドウカ、其ノ方ガ綺麗デアナイカ、請求書ヲ持ツテ來ルナラ一月一杯ニ出サヌト拂ハヌ、ソレ位ナラ全廢シテ徵稅者ニ無料デアヤラシタラドウカ、一年一人ニ付キ十錢ヤ二十錢位ノモノデ足ルモノデアナイ、是デハオ茶代モノ一遍ノ辨當代モノ位デスカラ、斯ウ云フヤウナモノハ一ツソ撤廢シテ義務制デアアルヤウニシタラドウカ

リマセヌ、ソレニ其ノ計算ヲスルコトハ中々煩瑣ナノデスシ、稅務署デモ面倒ダト思フ、是ハ此ノ際一ツソ營業稅モ支出ニ認メヌヤウニ、所得ノ中カラ負擔スルトカ、何トカソコニ一定ノ方法ヲ採ツテハドウカ、是ハ同ジ純益ニ對シテ納メルノニ、一ツハ支出ト認メズ、一ツハ支出ト認メル、サウスルト會社ノ計算トシテハ、決算期ガ來タ時ニ純益金ヲ計上シテ、其ノ中カラ營業稅ダケハ又未拂カ何カニ建テ、一方ニ稅ノ支出トシテ置カケレバ經理ガ立タヌ、是ハアノカシナコトデ、手間暇ノ掛ルコトデアアルガ、斯ウ云フモノハ此ノ際何トカ整理シテ出サレカト思ツテ居ツタガ、相變ラズ其ノ儘ニナツテ居ル、是ハ納稅者ノ方デモ面倒デアリスルカラ何トカ御考ヘハナイモノデセウカ

○田中(豐)政府委員 先程ノ銀行預金ノ問題デソレ程手數ガ掛ラヌト申シマシタノハ、分類所得稅ノ課稅ニ付テ申上ゲタノデアリマシテ、綜合ノ問題ニ付テハ御話ノヤウニ色々ナ問題ガアリマス、併シ今回ノ改正ニ於テ此ノ點モ極ク單純ニスル積リデアリマシテ、從來ハ利子百圓以上ノモノハ支拂調書ヲ出シテ居リマシタガ、之ヲ三百圓程度ニ引上ゲタイト考ヘテ居リマス、尙又其ノ一人ニ付キ三百圓ト云フ金額ニ付テモ、一ツノ店ニアル全部ノ預金ヲ綜合スルノデナク、定期的ナ預金ト要求拂ノ預金ト全ク分ケ、各々判斷シテ三百圓以上ナラ支拂調書ヲ出スト云フヤウニ手數ノ省略ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

次ハ法人稅ヲ計算シ、資本稅ヲ計算スルノニ、一番面倒デアアルシ、會社ガ其ノ措置ニ困ツテ居ルノハ、同ジ純益ニ課スルノニ法人稅、其ノ中ニ加ツテ居ル資本稅ハ之ヲ支出ト認メヌ、ソレカラ營業稅ハ支出ト認メル、是ハ同ジ純益ニ課ケルノデスヨ、外形稅デア

ソレカラ手數料交付ノ問題デアリマセヌガ、是ハ從來十錢デアリマシタノラ昨年改正シテ、納稅者一人當リ二十錢

ソレカラ手數料交付ノ問題デアリマセヌガ、是ハ從來十錢デアリマシタノラ昨年改正シテ、納稅者一人當リ二十錢

ソレカラ手數料交付ノ問題デアリマセヌガ、是ハ從來十錢デアリマシタノラ昨年改正シテ、納稅者一人當リ二十錢

ニ相成ツテ居リマス、此ノ程度ノ交付金ナラ廢メタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、ソレモ一ツノ方法カモ知レマセヌ、唯併シ從來カラ斯ウ云ツタヤウナ手數ヲ掛ケテ場合ニハ、交付金ヲ出スト云フ制度ニナツテ居リマシテ、色々手數ガ掛ルト云フコトデ昨年金額モ上ゲタヤウナ次第アリマス、廢止スルガ宜イカドウカト云フコトハ一ツノ問題デアラウト思ヒマス、尙ホ期限ガ遅レタラ拂ハナイト云フヤウナ問題ニ付テハ、申請ガ要件トナツテ居ルト云フコトカラ來ルノデアリマスガ、此ノ手數料ノ交付其ノ他ニ付テハ今後實際ノ扱ヒヲ便宜ニ早クヤルヤウニ努力シタイト思ヒマス

最後ノ營業稅ノ損金ト見、法人稅ハ見ナイ、ハ非常ニ不便デハナイカト云フ御質問、其ノ點ハ確ニ御指摘ノ通り現行法ニ不便ノ點ガアリマス、唯理窟ハ所得ニ課カル法人稅ハ損金ト見ナイガ、營業稅ハ一ツノ物のナ租稅デアアルカラ損金ト見ルト云フヤウナ理窟カラ從來サウ云フ取扱ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ結果ガ御話ニナリマシタヤウナ法人ノ所得、其ノ他ノ計算上手數ガ掛ルト云フコトハ事實デアリマス、ソコデ改正ト云フコトガ屢々議ニ上ツテ居ルノデアリマスガ、色々ナ點カラ、營業稅ヲ損ニ見ナイト云フコトデ、法人稅ニ合セマスコトハ、理論上モ思イノミナラズ、又營業者ニ取ツテモ相當負擔ヲ加重スル方ノ改正ニナリマスノデ、今回ハソコマデ參ラナカッタノデアリマシテ、今後尙ホ研究致シタイト考ヘマス

云フコト、是ハ手數料ニナラヌ、二十錢實ツテモ、ソレハ扱ツテ居ル人間ノ本俸ニモ當ラヌ、ダカラヤルノナラ十分ニヤル、納稅者一人ニ付キ一年二十錢デハ問題ニナラナイ、ダカラ私ハ、是ハ一層義務ニシテ持テセタ方ガ綺麗デヤナイカ、ソレカラ後ノ問題ハ、營業稅ヲ支出ノ方ニ見ナイデ、所得カラ全部負擔スルト云フノハ——私ハ負擔ヲ増セト云フノデヤナイ、法人稅ト睨ミ合セテ行ケバ宜イノダカラ、率ニ於テ手加減出來ルノダカラ、之ヲ一本ニシテ、ドチラモ損ニ見ルカ、ドチラモ所得ノ中カラ拂フカト云フコトニシタラドウデスカト云フ意味ダツタノデアリマスカラ、左様御説承テ願ヒマス、私ノ質問ハ是デ止メマス

取リニナルノカ、此ノ點ヲ明確ニサレナイト、何ダカ國民ハ、餘裕ノアルモノヲ一切擧ゲテ國ニ捧グベキデハナイカト云フ感ジテ受ケマス、戰爭生活ニ於テハソレモ宜イト思ヒマスガ、ソレナラソレデ大膽率直ニサウ云フ風ニ國民ニ示サレタ方ガ宜イト思フ、此ノ稅ノ關係ニ於テハ、昨年モ既ニ大體五分程度ノ引上ゲガアリ、本年モ亦分類所得ニ於テ三分引上ゲラレテ居ル、恰モ稅制ノ大體ノ目安ト云フモノガ何ダカ無方針デヤナイカト云フヤウナ印象ヲ與ヘル虞ガアルト思ヒマスノデ、此ノ點主稅局長カラ明快ニ御示シ願ヒタイト思ヒマス

ハ望マシイノデアリマスガ、併シ一方ニ於テ租稅ガ國民生活ニ與フル影響デアルトカ、或ハ產業界ニ與フル影響ト云フヤウナモノカラ、租稅ノ限度、制約ト云フモノガアル、即チ戰時下ニ於キマシテモ生産増強ヲシナケレバナリマセヌシ、軍需資材其ノ他ノ生産ヲ増強スル爲ニ産業ハ益々維持シ、場合ニ依ツテハ發展サセナケレバナラヌ問題デアリマスカラ、サウ云ツタヤウナ產業ノ維持發展ト云フコト、國民生活ハ、戰時下ニ於テ切下ゲラレルトハ已ムヲ得ナイ所デアリマスガ、之ヲ出來ルダケ切下ゲテ戴クト致シマシテモ、國民生活ノ安定ト云フモノハ保持シ得ル、斯ウ云フ二ツノ點ヲ睨ミマシテ、是ハ數字のニハツキリ是ダケハ宜イトカ惡イトカ出來ルモノデハナイト思ヒマスガ、ソレ等ヲ全般のニ大キク睨ンデ、今日ノ狀態ニ於テハ租稅ハ此ノ程度増稅スルコトガ適當デアラウト云フヤウナ觀點カラ、年々増稅ガ行ハレテ居ルト云フヤウニ承知致シテ居ル次第デアリマス

○森田(總)委員 大體事務的ノ問題ハ此ノ程度ニ致シテ置キタイト思ヒマスガ、終ヒニ言ハレタ二十錢ノ手數料ト云フコト、是ハ手數料ニナラヌ、二十錢實ツテモ、ソレハ扱ツテ居ル人間ノ本俸ニモ當ラヌ、ダカラヤルノナラ十分ニヤル、納稅者一人ニ付キ一年二十錢デハ問題ニナラナイ、ダカラ私ハ、是ハ一層義務ニシテ持テセタ方ガ綺麗デヤナイカ、ソレカラ後ノ問題ハ、營業稅ヲ支出ノ方ニ見ナイデ、所得カラ全部負擔スルト云フノハ——私ハ負擔ヲ増セト云フノデヤナイ、法人稅ト睨ミ合セテ行ケバ宜イノダカラ、率ニ於テ手加減出來ルノダカラ、之ヲ一本ニシテ、ドチラモ損ニ見ルカ、ドチラモ所得ノ中カラ拂フカト云フコトニシタラドウデスカト云フ意味ダツタノデアリマスカラ、左様御説承テ願ヒマス、私ノ質問ハ是デ止メマス

○田中(總)政府委員 申志レマシタガ、先程法人ノ申告納稅制度ノ際ニ、納稅準備預金ノ點ニ觸レラレタノデアリマスガ、申告納稅制度採用ト同時ニ、サウ云フ法人ニ付テハ納稅準備預金ヲシナイデ宜イ、斯ウ云フヤウニアノ規定ノ適用ヲ免除ラスルヤウニ改正致シテ居リマス

○勝委員 是デ政府委員ニ對スル質問ノ通告ハ盡キマシタガ、大臣ニ對スル質問ノアル方デ、政府委員ニ對スル質問ダケヲ拔取ツテ先ニオヤリ下サツテモ結構ダト思ヒマス

○田中(總)委員 大藏大臣ニ伺ヒタイコトモアリマスガソレハ明日ニ讓リマシテ、主トシテ主稅局長ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、其ノ一ツハ、先刻大藏大臣ハ、戰時財政稅ノ關係デ、努メテ稅ニ依ルベキデアルト云フ御意見ダツタノデスガ、然ラバ稅ハ國民ノ負擔力ノアル限り取ルノダト云フコトニナルノカ、或ハ一定ノ目安ヲ立テテ御

○田中(總)委員 御説ハ能ク分ルノデアリマスガ、結局國民生活ノ安定ト云フコトガ最低限限界デアルト云フ風ニ受取レル譯デアリマス、果シテサウ致シマスト、先刻大藏大臣ハ國民生活ニ關スル統計、或ハ科學的ナ資料等ニ付テハ内閣ニ於テモヤツテ居ルガ、自分トシテハ關知シナイ、或ハサウ云フモノヲ考ヘテ増稅ハヤツテ居ナイト云フ風ナ御言葉ガアツタト思ヒマスガ、其ノ點ニ於テ主稅局長ノ御意見ト稍、隔リガアルヤウニ感ジマス、ソコデ此ノ點更ニ明確ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○森田(總)委員 大體事務的ノ問題ハ此ノ程度ニ致シテ置キタイト思ヒマスガ、終ヒニ言ハレタ二十錢ノ手數料ト云フコト、是ハ手數料ニナラヌ、二十錢實ツテモ、ソレハ扱ツテ居ル人間ノ本俸ニモ當ラヌ、ダカラヤルノナラ十分ニヤル、納稅者一人ニ付キ一年二十錢デハ問題ニナラナイ、ダカラ私ハ、是ハ一層義務ニシテ持テセタ方ガ綺麗デヤナイカ、ソレカラ後ノ問題ハ、營業稅ヲ支出ノ方ニ見ナイデ、所得カラ全部負擔スルト云フノハ——私ハ負擔ヲ増セト云フノデヤナイ、法人稅ト睨ミ合セテ行ケバ宜イノダカラ、率ニ於テ手加減出來ルノダカラ、之ヲ一本ニシテ、ドチラモ損ニ見ルカ、ドチラモ所得ノ中カラ拂フカト云フコトニシタラドウデスカト云フ意味ダツタノデアリマスカラ、左様御説承テ願ヒマス、私ノ質問ハ是デ止メマス

○田中(總)政府委員 申志レマシタガ、先程法人ノ申告納稅制度ノ際ニ、納稅準備預金ノ點ニ觸レラレタノデアリマスガ、申告納稅制度採用ト同時ニ、サウ云フ法人ニ付テハ納稅準備預金ヲシナイデ宜イ、斯ウ云フヤウニアノ規定ノ適用ヲ免除ラスルヤウニ改正致シテ居リマス

○勝委員 是デ政府委員ニ對スル質問ノ通告ハ盡キマシタガ、大臣ニ對スル質問ノアル方デ、政府委員ニ對スル質問ダケヲ拔取ツテ先ニオヤリ下サツテモ結構ダト思ヒマス

○田中(總)委員 大藏大臣ニ伺ヒタイコトモアリマスガソレハ明日ニ讓リマシテ、主トシテ主稅局長ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、其ノ一ツハ、先刻大藏大臣ハ、戰時財政稅ノ關係デ、努メテ稅ニ依ルベキデアルト云フ御意見ダツタノデスガ、然ラバ稅ハ國民ノ負擔力ノアル限り取ルノダト云フコトニナルノカ、或ハ一定ノ目安ヲ立テテ御

○田中(總)委員 御説ハ能ク分ルノデアリマスガ、結局國民生活ノ安定ト云フコトガ最低限限界デアルト云フ風ニ受取レル譯デアリマス、果シテサウ致シマスト、先刻大藏大臣ハ國民生活ニ關スル統計、或ハ科學的ナ資料等ニ付テハ内閣ニ於テモヤツテ居ルガ、自分トシテハ關知シナイ、或ハサウ云フモノヲ考ヘテ増稅ハヤツテ居ナイト云フ風ナ御言葉ガアツタト思ヒマスガ、其ノ點ニ於テ主稅局長ノ御意見ト稍、隔リガアルヤウニ感ジマス、ソコデ此ノ點更ニ明確ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

ニ、大藏省トシテハ國民ノ生活ニ關スル組織ノ調査ハアリマセヌ、勿論我我事務ノ者ハ參考トシテサウ云ツタモノヲ色々目安ニモ致シマスシ、又先程申上ゲタ内閣ノ調査モ一應ハ參考トシテ檢討シテ居リマスガ、ソレガ直チニ増稅ノ程度ヲ決シタト云フモノデハナイノデアリマシテ、大キク言ヘバ政治的ノ意味ニ於テ此ノ程度ナラバ耐エ得ルノデハナイカ、先程ノヤウナ尺度ニ照シテ、戰時下已ムヲ得ナイノデヤナイカト云フヤウナ觀點カラ決メテラヤウナ次第デアリマス

○田中(總)委員 此ノ問題ハ是レ以上申上ゲルコトハ議論ニナリマスガ、結局戰時體制下ニ於ケル稅ノ任務ハ、平時ト可ナリ變ツテ居ルノデハナイカト云フ感シガシマス、言ヒ換ヘレバ只今ニ依ツテ増稅ヲスルノダト云フコトニナルノデスガ、結局私ハ購買力ノ吸收ガ、所謂民間ニ於ケル浮動資金ノ吸收ト云フコトガ重大ノ任務ニナツテ來タノデハナイカト思フノデス、國民ノ最低限度ノ生活ヲ確保スル、ソレ以上ハ浮動購買資金ト見テ、之ヲ徹底的ニ國家ニ吸收スルノダト云フ點ガ狙ヒドコロデハナイカト思フノデスガ、斯ウ云フ點ハドチラカト云フト、ハツキリソレナラソレドチラカト云フヤウナ方宜イ、平時ノ稅制ノ目標トハ可ナリ懸隔ガアルノデヤナイカト私ハ思ヒマス、サウ云フコトハ遠慮ナク大膽率直ニ言ツテ貰ツテ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、是ハ議論デアリマスカラ申シマセヌ

ソレカラ只今主稅局長ガ仰シヤツタ結局今次ノ増稅ハ國民生活ノ切下ゲノ要求ニナル譯デス、此ノ問題ハ大藏省ニ於テハ十分調査サレテ居ナイト云フ

コトデアルカラ、特に追窮ハ致シマセヌガ、苟クモ今次増稅ニ於テ國民生活ノ切下ゲヲ要求スルト云フコトデアレバ、如何ナル限度ニ於テ要求スルカト云フコトヲ明確ニスベキダト思ヒマス、勿論結果ニ於テ、例ヘバ今次ノ増稅ニ於テハ、地方稅、分類所得稅等、或ハ間接稅等ヲ合セマスルト、恐ラク十五六圓乃至二十圓ノ増稅ニナルト思フノデアリマス、隨テ假リニ百圓程度ノ收入ヲ標準トスレバ、例ヘバ徵用工ノ普通ノ收入百圓ヲ目安トスレバ、二割以上ノ増稅ト云フコトニナリマス、言ヒ換ヘルト生活ノ切下ゲニナリマス、現ニ既ニ十九年度ニ於テハ二割程度ノ負擔ガ掛ツテ居ル、サウスルト百圓ノモノハ六十圓以下ニ於テ生活シナケレバナラナイト云フコトニナル譯デス、サウ云フ譯デアリマスノデ、斯ウシタ生活ノ切下ゲヲ要求スルト云フコトデアレバ、先程主稅局長ガ仰シヤツタ如ク、配給ニ於ケル生活確保ト云フコトガ大前提デナケレバナラナイ、サウ云フ譯デアリマスノデ、國務大臣タル大藏大臣ニ於テハ此ノ點ヲ考慮勘案シテ、増稅ニ對スル對案ヲ立テナケレバナラナイノデハナイカト思フノデスガ、主稅局長ハ此ノ立案ニ當ツテ、サウ云フ點ニ付テノ考慮如何ト云フコトヲ此ノ機會ニ説明セラレル方宜イノデハナイカト思ヒマス

○田中(總)政府委員 今度ノ増稅ノ結果、少額所得者、例ヘバ二千圓ノ勤勞所得者ノ負擔ノ増加ヲ見ルト、妻及ビ子供二人ト考ヘテ、從來ハ百二十八圓、改正後ハ百八十圓、負擔ノ増加ハ四十二圓ト云フコトニナツテ參リマス、之ヲ分類所得稅毎月給料カラ差引カレマスノデ、月三圓五十錢ノ増加

ノ程度デアリマス、更ニ從來ノ三千圓ノモノヲ採ツテ見マス、此ノ御手許ニアル表デハ二百八十八圓ノモノガ三百六十圓デ、七十二圓、毎月六圓ツ、増加スルコトニナリマス、是ガ例ヘバ先程申シマシタ内閣ノ依囑ニ依ツテ經濟聯盟ガ調査致シマシタ最低生活費ノ調査等ニ現ハレマスノハ、東京ニ於テ一家族百五十圓位ガ最低デアルト云フ調査ガ出テ居ツタト思フノデアリマスガ、是等ノ關係シテ只今申上ゲタ二千圓ノモノデ月三圓五十錢、三千圓ノモノデ月六圓程度ト云フ負擔ガ更ニ檢出出來ナイカト云フヤウナ問題ニナ致シマシテ、百五十圓ト云フヤウナ一此ノ數字ハハツキリ致シマセヌ、是ハ唯記憶デ申上ゲテ居リマスノデ、其ノ前後デアアルカト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナ數字ニナツテ居リマス、隨テ此ノ程度ノ増稅負擔ニハ更ニ生活ノ非常ナル切下ゲト云フヤウナコトハナクシテ耐エ得ルモノデアルト云フヤウナ觀察ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス

問題ハ更ニ大臣カラモ國民生活ノ切下ト、所謂國家資金ノ配分計畫トノ關係ニ於テ明確ニ御伺ヒ致シマスカラ、是レ以上ハ追窮致シマセヌ

○田中(總)委員 生活切下ノ問題デアリマスガ、今仰シヤツタ數字ハ確ニサウデス、併シ私ノ申上ゲルノハ間接稅ノ他地方稅等モ考ヘテ見ナケレバナリマセヌ、言換ヘマスト酒ハ大體七割ノ増稅デアリマス、ソレデ一箇月假ニ一升配給ガアルト致シマスト五圓乃至七圓ノ増ニナリマス、煙草ガ一日六本トシテモ四圓、市民稅等ニ於テ三圓乃至四圓、ソレカラ分類所得稅ニ於テ三圓デス、サウスルト十五六圓ハハツキリ負擔増ニナリマス、是ハ爭ヒナイ事實デアリマス、サウ云フ譯ダカラ私ハ只今ノ數字ヲ申上ゲタノダガ、此ノ

問題ハ更ニ大臣カラモ國民生活ノ切下ト、所謂國家資金ノ配分計畫トノ關係ニ於テ明確ニ御伺ヒ致シマスカラ、是レ以上ハ追窮致シマセヌ

次ニ御伺ヒ致シタイコトハ購買力吸收對策ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付テ色々御考慮ニナツテ居ルト思ヒマスガ、只今ノ貯蓄獎勵一本槍——勿論増稅モ含ソデ居リマスガ、貯蓄獎勵一本槍デハドウモ消極的デ困難デハナイカト私共ハ思フノデアリマス、即チ新興所得階級ノ浮動購買力ヲ如何ニ吸收スルカト云フコトガ先刻來森田サンカラ色々論議サレテ居ツタノモ結局茲ニアルト思ヒマス、隨テ貯蓄ノ目標ヲ何トカ明ルイ希望ヲ與ヘルガ如キ所ニ置ク貯蓄運動ガアレバ、是ガ一番宜イ譯ナシデス、今ノ貯蓄ハ幾ラ貯蓄シテモ何ダカ國民貯蓄デ抑ヘマシテ動キガ取レナイ、唯金錢の多數額ガ殘ツテ居ルダケデアツテ、其ノ將來ニ付テ何等ノ希望ヲ持タナイト云フ所ガ十分サウシタ浮動購買金ヲ集メ得ナイ原因デヤナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ觀點カラスルト、例ヘバ昔ヨクアリマシタヤウナ、旅行ヲヤル爲ニ貯蓄ヲサストカ、或ハ住宅ヲ建テル爲ニ貯蓄ヲサストカ、勿論其ノ貯蓄ノ結果ハ金デ渡スノデハナクシテ、住宅ヲ與ヘ、大陸或ハ南方或ハ「ヨーロッパ」ニ對スル旅行ヲサセルト云フヤウナ金錢ノ交付デナクシテ、物或ハ希望ヲ以テ其ノ貯蓄ノ將來ヲ保證スルト云フガ如キ制度ガアツテ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付テノ當局ノ購買力吸收對策ニ對スル考慮如何ト云フコトヲ此ノ機會ニ伺ヒタイノデアリマス

○田中(總)政府委員 只今ノ御質問ノ趣旨ハ所管ノ局長ニ申傳ヘマシテ、別

ノ機會ニ御答辯シテ戴クコトニシマス

○田中(總)委員 ソレデハ購買力吸收ノ問題ハ此ノ際ハ聽キマセヌ、具體的ナ問題ヲ出シマス、今次ノ増稅ニ付テハ先ツ感ズルコトハ少額所得者ニ重クテ、高額所得者ニ低イト云フ印象ヲ與ヘマス、即チ綜合所得稅ニ對スル増稅ノナイノガ其ノ一ツデス、十九年度ニ於テハ分類所得モ綜合所得モ増率サレテ居リマス、大藏大臣ハ綜合所得者ハ疲レテ居ルカラ今度ハヤウナイノダト云フ御説明デアツタガ、是デハ大衆バ何ダカ變ヂヤナイカト云フ感シガシマス、ダカラ此ノ點ノ明快ナル御答辯ヲ得タイト思ヒマス、同時ニ一律ニ百分ノ三ノ増稅ト云フコトハ一見公平デアルヤウデアリマスケレドモ、其ノ基礎數字タル課稅率ガ各運ツテ居リマス、即チ違ツタ課稅率ニ對シテ等シク百分ノ三ヲ課稅サレルコトハ非常ナ不公平ニナル譯デアリマス、之ヲ具體的ニ申上ゲマスルト、不動産所得ハ一律ニ百分ノ三ダト仰シヤツテ居ルカ百分ノ二デアリマス、ソレカラ負債所得ハ二割二分ノ増デアリマス、普通ノ勤勞所得ハ大體二割ノ増デアリマス、國債ハ二割二分、株式其ノ他社債等ニ付テハ二割五分ノ増ト云フコトニナリマス、ソレカラ貯蓄等ニ付テハ申上ゲマセヌ

○田中(總)政府委員 今回ノ増稅ハ大

以下ガ二割デアツテ、二萬圓ヲ超エルト一割、四萬圓ヲ超エルト七分弱、十萬圓ヲ超エルト五分弱ト云フコトニナツテ、下ニ重ク上ニ輕イト云フ印象ヲ與ヘマス、隨テ斯ウ云フ點ニ付テ等シク百分ノ三ヲ上ゲラレタ根據如何ト云フコトヲ明確ニ御説明ヲ承リタイト思ヒマス

體ニ於テ少額所得者ニ酷デ、綜合所得稅ヲ引上ゲナイト大所得者ニ寛アルト云フコトデゴザイマスガ、結果ニ於テ御話ノ通り少額所得者ノ方ガ負擔ノ増加歩合ガ多ク、大所得者ハ増加歩合ガ少クナツテ居リマス、併シハ戰時下ニ於キマシテ段々ト此ノ稅ヲ増徴シテ參ル、其ノ度ニ多少不合理ト云フヤウナ面ニモ課稅ヲ及ボシテ行ク、或ハ今マデ免稅デアリマシタモノニ付テ、更ニ稅ヲ徵收シテ行カケレバ間ニ合ハナクナルト云フヤウナコトハ已ムヲ得ナイ所デゴザイマシテ、英國、米國、「ドイツ」等ニ於キマシテモ、此ノ稅ノ主タル部分ガ少額所得者ノ、中以下ノ數ノ多イ所ニ集中サレテ參ツテ居ルヤウナ實情ニアルヤウニ承知致シテ居リマス、勿論上ノ方ニモ餘裕ガアレバ増徴致スベキデアリマセウガ、ソコノ餘裕ガ今日ハ餘程少クナツテ居ルト云フヤウナ觀點ノ下ニ、分類所得稅ヲ一律二三%引上ゲルト云フヤウナ方法ニ依ラレタ譯デアリマシテ、其ノ結果ガ御指摘ノ如ク少額所得者ノ引上率ガ比較的重イヤウニナリマシタコトハ已ムヲ得ナイコト思フデアリマス、尙ホ今度ノ稅率ノ引上ガ三%デアツテ一律増稅、其ノ結果ハ、基礎ガ違フニ同ジク三%ト云フコトデハ引上割合ガ違ツテ來テ不公平デハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ御話ノ如ク基礎ガソレレト違ヒマスノニ、例外ノ二%ナドノモノヲ除キマシテ、三%引上ゲタト云フコトニ依ツテ、割合ガソレレト異ツテ參リマス、併シナガラ此ノ點モ之ヲ不公平デアルト致スベキカ、或ハ等シク間差ト申シマスカ色々ナ所得間ノ差、稅率ノ差ト云フモノヲ其ノ儘保ツテ行クノモノヲ考ヘ方デアリマシ

テ、殊ニ利子のナモノ、配當のナモノニアリマシテハ、從來ノ稅引ノ手取りト云フコトガ非常ニ重要ナル要素ニナル譯デアリマシテ、其ノ手取りノ差額ト云フモノヲ從來ノ「バランス」ヲ維持シテ行クト云フヤウナ考ヘ方モ必要ナラデアリマス、何レガ正シイカト云フヤウナコトハ、俄カニ決メラレヌコトデアルト思ヒマスガ、今回ノ增稅ハ其ノ間差ヲ等シクシテ行クト云フ趣旨カラ、基礎ノ違フ色々ノ稅率ニ對シテ何レモ三%引上ゲルト云フコトニ致シタヤウナ次第デアリマス

○田中(藤)委員 議論ニナリマスカラ申上ゲマセウガ、兎ニ角只今仰ツシヤツタ如クニ高所得者ニ輕イト云フ印象ヲ與ヘルコトハ事實デス、此ノ問題ハ結局思想上ノ顧慮ヲサレナイト私ハ將來困ルカト思ヒマスルノデ、今後ノ增稅ニ於テハサウ云フ點ヲ十分注意サレタイト思ヒマス、尙ホ公債ト株式ノ増稅率ガ變ツテ居リマス、即チ公債ト株式ト同様に上ゲラレタコトハ、先程申上ゲマシタヤウニ等シク百分ノ三トサレタ關係デ、從來國債ガ可ナリ有利ニ考ヘラレテ居ツタノガ、株式其ノ他ト同様に扱ハレテ居ルコトニ相成ルノデアツテ、此ノ點ハ國債消化等ニ影響ヲ及ボシハセウカト云フコトヲ懼レル譯デアリマスガ、現在ノ國債ノ分布カラ見テソナコトハ心配ナイノダト云フコトニナルノデアリマセウカ、此ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 同ジク國債モ社債其ノ他ノ利子ト同様ニ三%引上ゲテ居リマス、併シ其ノ結果國債消化等ニ惡影響ハナイカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、此ノ增稅ノ結果國債ト領金、或ハ社債、地方債又ハ株式ノ配當、是ノ稅引ノ手取り利廻リト云フモノハ、計算致シテ見マスト餘リ現在ト「バランス」ヲ狂ハサナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、隨テ等シク百分ノ三ヲ上ゲタト云フコトノ爲ニ國債消化ニ惡影響ヲ及ボスト云フコトハナイモノト考ヘテ居リマス

○田中(藤)委員 次ニ納稅施設ニ關スル問題デ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、隣組ガ扱フ稅、或ハ稅トシテ納ムベキ現金、或ハ貯金——大體町會デアレバ、納稅施設ニ依ツテ、隣組長ガ自ラ管理スル所ノ稅金トシテ納ムベキ現金、或ハ貯金、之ヲ失ツタ場合ニハ一體トウナルカ、今度ノ改正ニ依レバ所謂納稅團體デナクテハ此ノ取扱ヲ受ケナイコトニナルノデアリマスルガ、是ハ等シク隣組長ノ扱ツタモノモ團體貯金トシテ扱ハレ、バ幸ヒダト思フノデアリマスガ、此ノ點ノ御意見ハ如何デアリマセウカ

○田中(豐)政府委員 隣組等ハ概ネ納稅團體ノ又其ノ中ノ一ツノ機關——機關ト申シテハ語弊ガアリマスガ、サウ云フ補助機關トシテ隣組ノ中ノ稅金ヲ扱フ、納付ノ委託ヲ受ケルト云フ關係ニ相成ツテ居リマスノデ、隣組ノ人ノ所ニ其ノ資金ガアリマス際ニ喪失致シタ場合ニモ、此ノ新シイ條項ヲ適用致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中(藤)委員 能ク分リマシタ、ソレカラモウ一ツ御伺ヒ致シマスガ、町村ニ依ツテハ納稅令書ヲ隣組デ一通作ツテ、各戸ニハ作ラナイト云フ取扱ヲ致シテ居ルヤウナ所モアリマスガ、納稅令書ガ何デモ五千萬程度毎年發行サレルト云フコトデアレバ、是ハ非常ニ簡素ニナル譯デ、紙ノ節約ニモナル譯デアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付

○田中(豐)政府委員 町村等ニ於テハ農業會等ノ貯金ノ振替ヒデ稅金ヲ納メルト云フヤウナコトガ非常ニ發達シテ居リマスノデ、サウ云フ市町村ニ於テハ一本デ納稅令書ヲ出シテ、ソレデ直チニ納付スルコトガ大變便利デアリマシ、サウ云フヤウナ方法ガ執リ得ル所ニハ、出來ル限り左様ナ簡素ナ方法ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、併シ都會地等ニ於テハ、農村ノヤウニ米ヲ賣ツテ代金ハ皆共同デ農業會ニ貯金シテ置クト云フヤウナ、納稅資金ガ一ツノ所ニ纏ツテ居ルト云フコトガナイカラ、比較的斯ウ云フ簡素ナ方法ヲ推進シテ行クコトハ困難カトモ思ヒマスガ、出來ル限りサウ云フ風ニシタイト考ヘマス

○田中(藤)委員 現ニサウ云フコトヲ行ツテ居ル所モアルノデ、是ハ是非強力ニ推進サレル方ガ戰時ノ要請ダト思ヒマス、モウ一ツ御伺ヒシタイコトハ酒ノ稅デアリマス、所謂果實酒ト申シマスカ、葡萄酒或ハ「ブランデー」ノ問題デスガ、昭和十九年度或ハ二十年度ニ於テハ酒石酸生産ノ關係デ造石サレテ居ルト思ヒマスガ、ドノ程度ニ造石サレテ居ルカ伺ヒタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 葡萄酒ノ増産ノ問題デアリマスガ、昨年酒石酸ヲ増産スル必要カラソレヲ主トシテ葡萄酒カラ取ルコトニナリ、葡萄ハ生果ニ供シナイデ總テ葡萄酒トシ、之ニ必要ナル砂糖ノ割當モ受ケマシタ、其ノ結果造

リマシタ數量ガ曆年デ申シマスト昭和十七年ガ八萬四千石、十八年ハ九萬二千石程度デアリマシタノガ、昨十九年ハ八十一月マデ、二十二萬五千石ニ増加シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○田中(藤)委員 各地方デハ葡萄酒ガ非常ニ澤山造ラレルト云フノデ、相當葡萄酒ノ配給ガアルノデハナイカト期待致シテ居ツタガ、一向配給ガナイノデ、其ノ行方ハドウナツテ居ルカト云フ意見ガ多イノデアリマス、特ニ或ル地方デハ、昨年ノ秋ニハ生ノ葡萄酒ヲ食フコトヲ禁ジタノダカラ、葡萄酒ヲ泡濺スル程配給スルノダト云フヤウニ新聞ガ宣傳サレタ例ガアリマスガ、併シ一向ニ是ハ家庭ニ配給サレテ居ナイノデアリマス、此ノ葡萄酒ハ一體何處ヘ行ツテ居ルノデセウカ伺ヒタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 二十二萬五千石程、昨年ノ葡萄酒出來タノデアリマスガ、是ハ酒石酸ノ生産ノ爲ニ相當期間葡萄酒ノ儘デ置イテオク必要ガアルノデアリマス、時期的ニ申シマスト、本年ノ二月半バ以降、ソレデハ市場ニ出サスト云フコトニナツテ居リマス、大體二月頃カラ三月ニ掛ケテ此ノ葡萄酒ガ出廻ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○田中(藤)委員 酒石酸ノ所謂壁酒石ノ關係デ二月頃マデ葡萄酒ガ出ナイト云フコトハ分リマスガ、此ノ酒石酸ノ製法ニ付テハ、學問上ノ研究ハ色々アリマセウガ、其ノヤウナ時間ヲ要セズ、即チ直チニ酒石酸石灰ガ出來上ツテ、純度ガ壁酒石以上ノモノガ出來ルト云フコトガ學界ニ於テ示サレテ居リ且ツ其ノ成果ガ分ツテ居ルノデアリマスガ、若シサウ云フ方法ヲ採ルコト

第三回 昭和二十年一月二十五日

ニナリマス、砂糖ナドモ要ラズニ、直チニ葡萄酒ガ市場ニ出、而カモ純度ノ良イ酒石酸ガ探レルノデハナイカト思ヒマスガ、大藏當局ニ於テハ此ノ點如何御考ヘデアリマセウカ

○田中(豐)政府委員 只今ノヤウナ、簡便ナ方法ニ依ツテ酒石酸ヲ探ルコトニ付テノ話ハ承知シテ居リマスガ、大藏當局トシテ直接ソレノ研究ヲ致シタコトハアリマセヌ、本年ノ分ハ從來、ト申シマシテモ初メノ計畫ノ通りニ從ツテ酒石酸ヲ探ルト云フコトニナツテ居リマス

○田中(藤)委員 是ハ大藏當局ニ於テ速カニ研究サレルコトヲ望ミマス、何故カト申シマス、砂糖ハ國民ノ消費ガ非常ニ切下ゲラレ、現在二十匁程ニナツテ居ル國民生活ノ砂糖消費ヲ切詰メテ配給シナガラ、而カモ學問的ニモ實驗的ニモ砂糖ナクシテ出來ルト云フ目安ガ付イテ居ルノニ、尙ホサウシタ面ニ砂糖ヲ多量ニ流スト云フコトハ甚ダ問題ダト思ヒマスノデ、此ノ點ハ十分ニ研究サレンコトヲ此ノ機會ニ要請シテ置キマス、是デ質問ヲ打切りマス

○勝委員長 政府ニ對スル質問ハアリマセヌカ——ソレデハ本日ハ是デ止メマス、明朝十時カラ大藏大臣ノ出席ヲ求メマス、明日午後一時カラハ内務大臣並ニ内務省關係ノ方ノ御出席ヲ求メマスカラ、内務省ニ對スル質問ハ午後カラ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會

午後二時五十七分散會